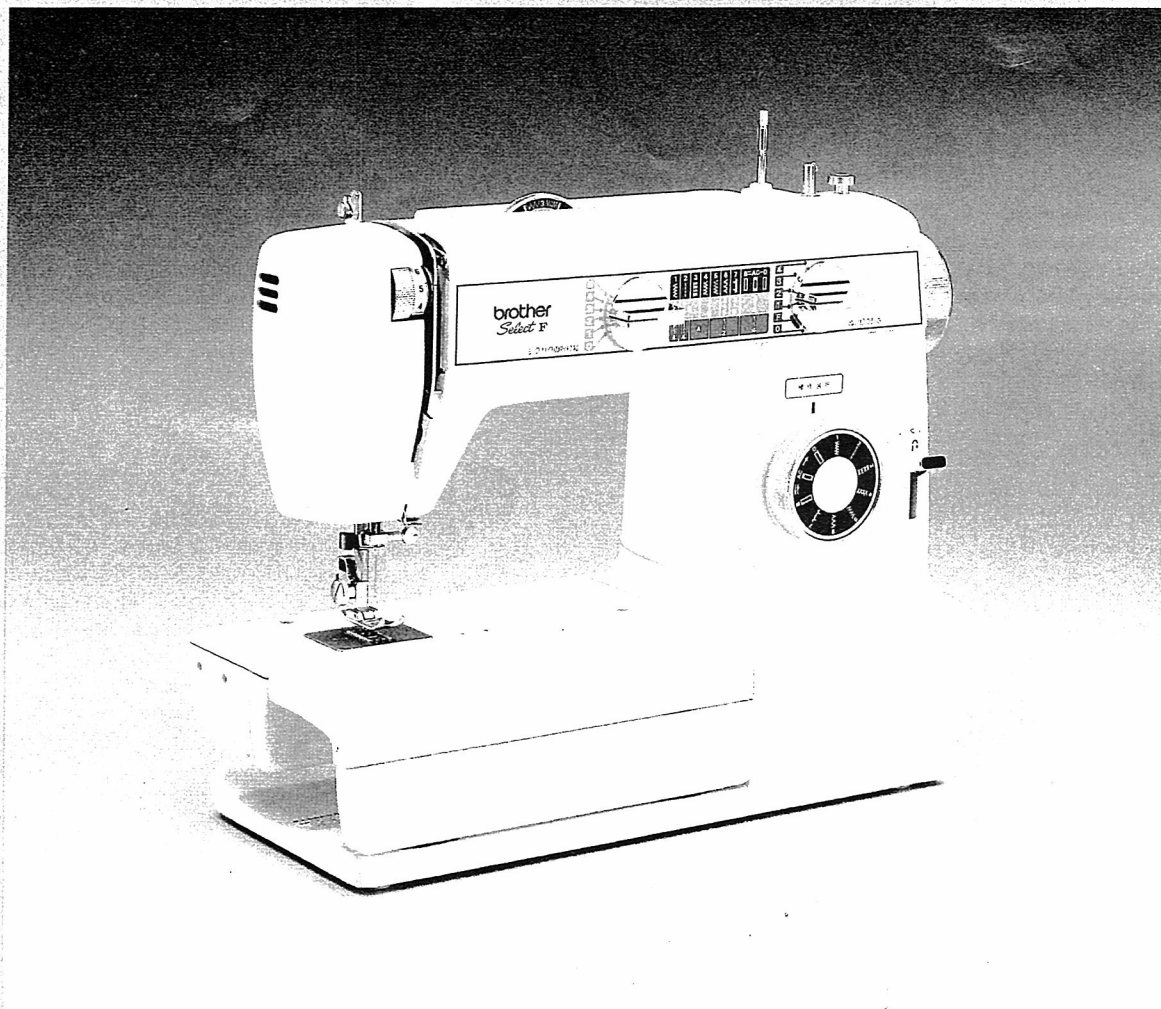


brother®



コンパクトフリーアームミシン

ZZ3-B556

取扱説明書



お買い上げまことにありがとうございます。この製品の素晴らしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。

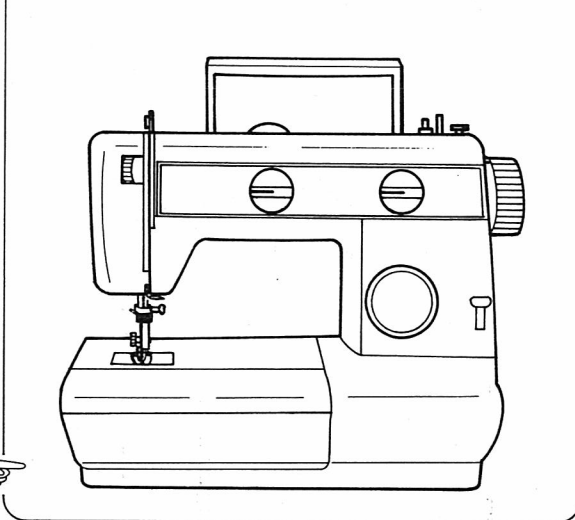
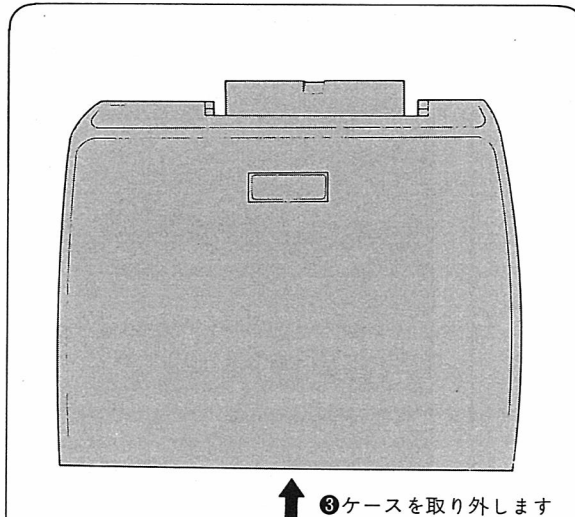
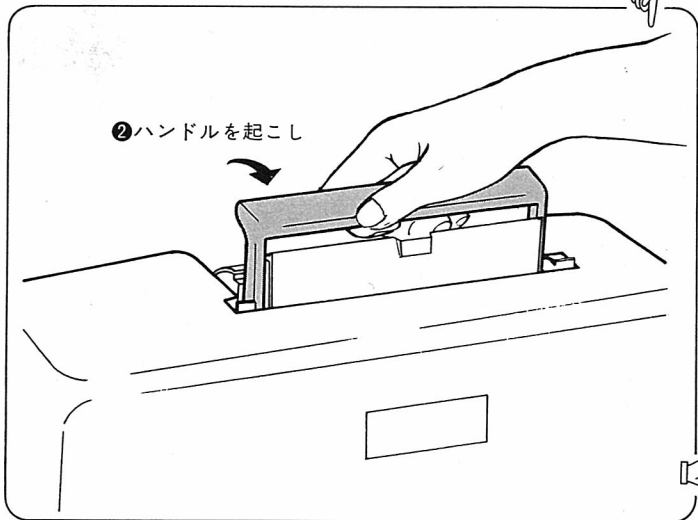
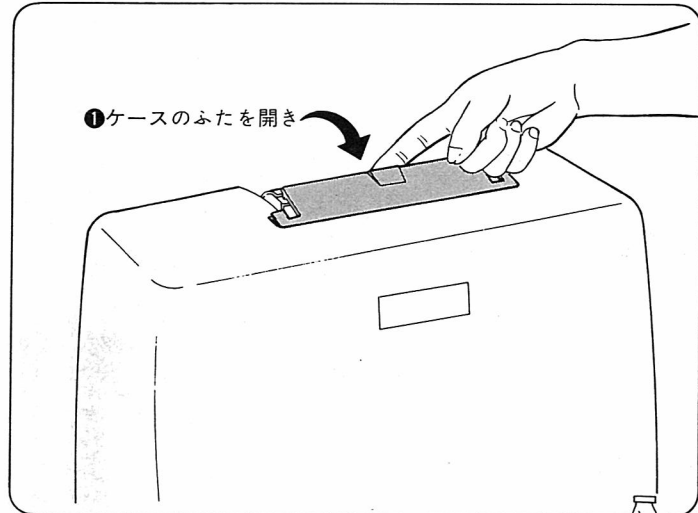
アフターサービスについて

- ◆この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、販売店でお渡し致しますから、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- ◆保証期間は、お買上げ日より1年間です。
 - 保証書の記載内容により、お買上げの販売店が修理致します。
 - その他詳細は、保証書をご覧ください。
- ◆保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店或いは、最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
 - 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
- ◆当社は、このミシンの補修用性能部品をお買上げの日から最低8年保存しています。
 - 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ◆保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店又は別記裏表紙の「お客様相談コーナー」へお問い合わせください。

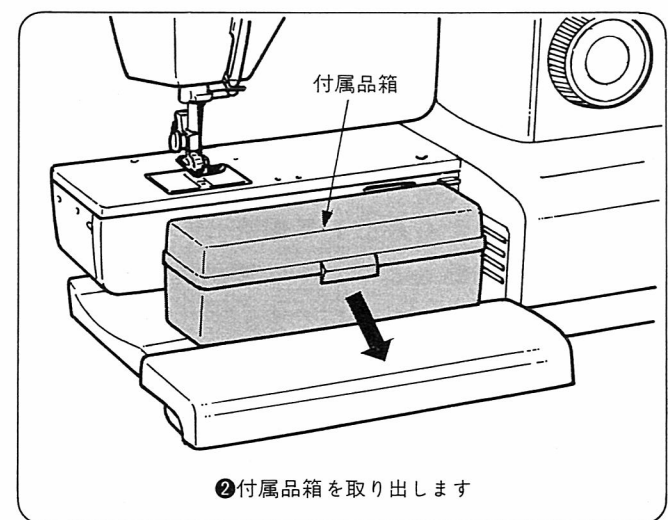
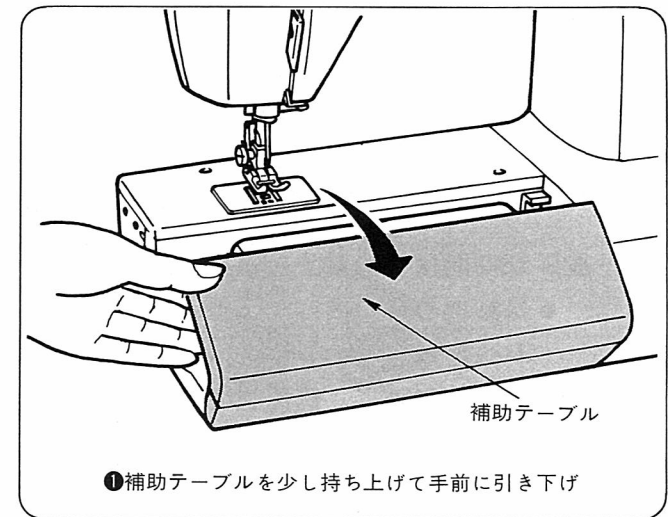
★使用前の準備★	1	直線縫い	14
★主な名称とはたらき★	2	◆こんな場合には	15
上糸調子ダイヤル	2	◆直線縫いの糸調子	19
押え調節レバー	2	ジグザグ縫い	20
ドロップフィード切り換えレバー	2	◆ジグザグ縫いの糸調子	20
色表示の合わせ方	3	フリーアームの利用のしかた	21
ジグザグの振り幅調節ダイヤル	4	★いろいろな縫い方★	22
ぬい目の長さ調節ダイヤル	4	伸縮縫い	22
模様選択ダイヤル	4	ボタン穴かがり	23
返しぬい用レバー	4	裁ち目かがり	26
針	4	まつり縫い	28
針板	5	ファスナー付け	30
押え	6	おとしミシン	32
付属品	7	ピンタック	33
その他の付属品	7	シエルタック	34
★運転のしかた★	8	アップリケ	35
★使 用 方★	9	★楽しい実用作品★	36
1. 上糸の掛け方	9	★ミシンの手入れと注油★	38
2. 下糸の引き上げ方	10	掃除と手入れ	38
3. 下糸の準備	10	注油	40
4. 布地・ミシン糸・ミシン針の 関係とミシンの合わせ方	13	★簡単な調整手入れ★	42
		★ミシンのしまい方★	44

✿ 使用前の準備 ✿

◆ミシンを取り出すには……



◆付属品箱を取り出すには……

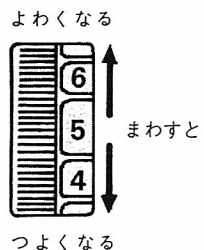


※しまい方は44ページをごらん下さい。

✿ 主な名称とはたらき ✿

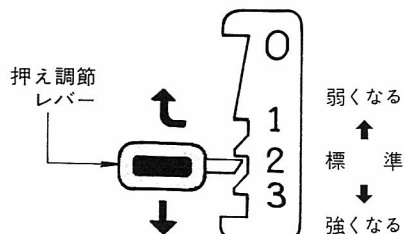
上糸調子ダイヤル

☆上糸の張力を調節するダイヤルです。(13・19ページ参照)



押え調節レバー

☆布地の種類によって押え圧力を調節するレバー（面板内部にあります。）です。(13ページ参照)
(注意)押え調節レバーを操作するときは、押えを下げておきます。



ドロップフィード切り換えレバー

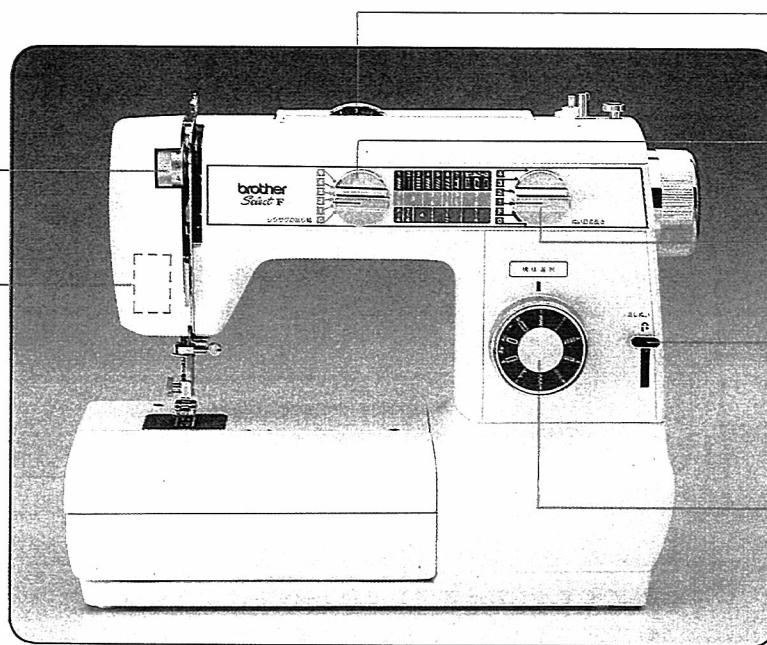
☆送り歯を上下させるレバー（補助テーブル内のフリーアーム部にあります。）です。



一般のさいほう
 (うす物・ふつう物・あつ物)



つくろい物
 ※ 布地を送らない



ボタン穴かがり調節ダイヤル
 (25ページ参照)

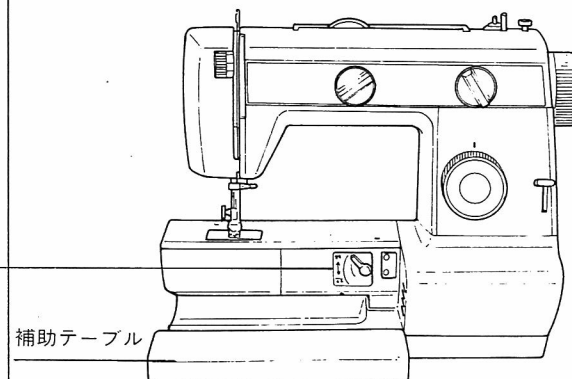
ジグザグダイヤル(4ページ参照)

送り調節ダイヤル(4ページ参照)

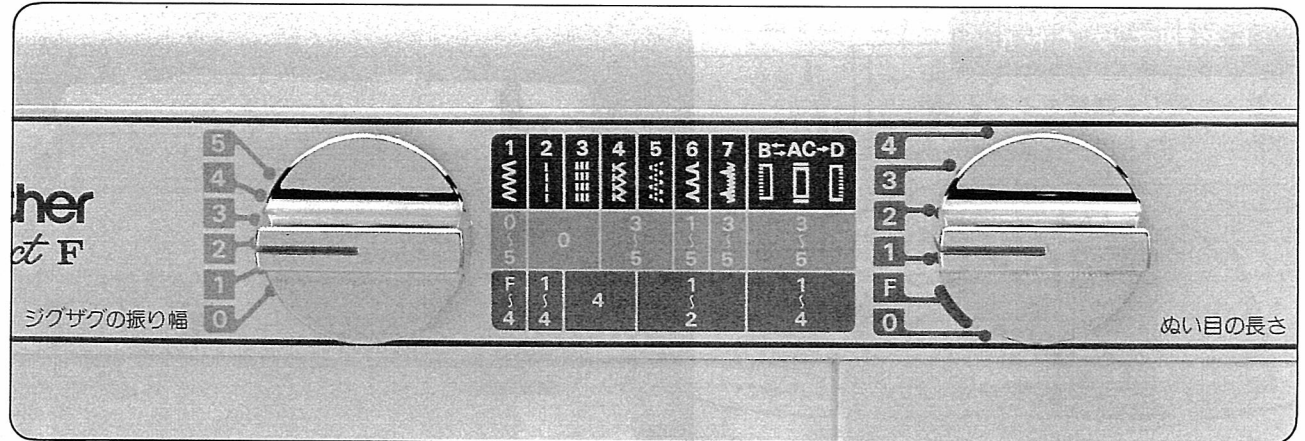
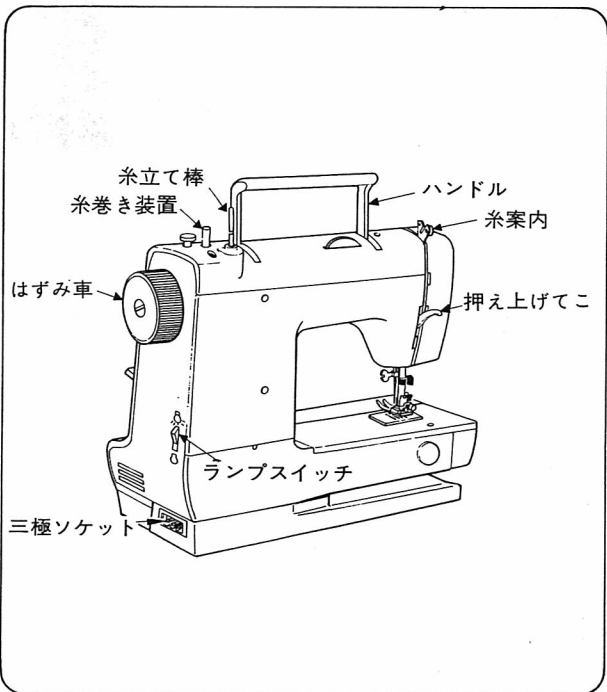
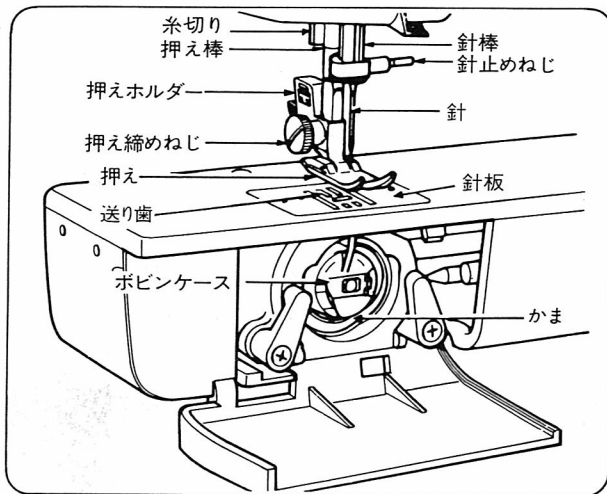
返し縫い用レバー(4ページ参照)

模様選択ダイヤル(4ページ参照)

《フリーアームとして使用する場合》
 (21ページ参照)



色表示の合わせ方

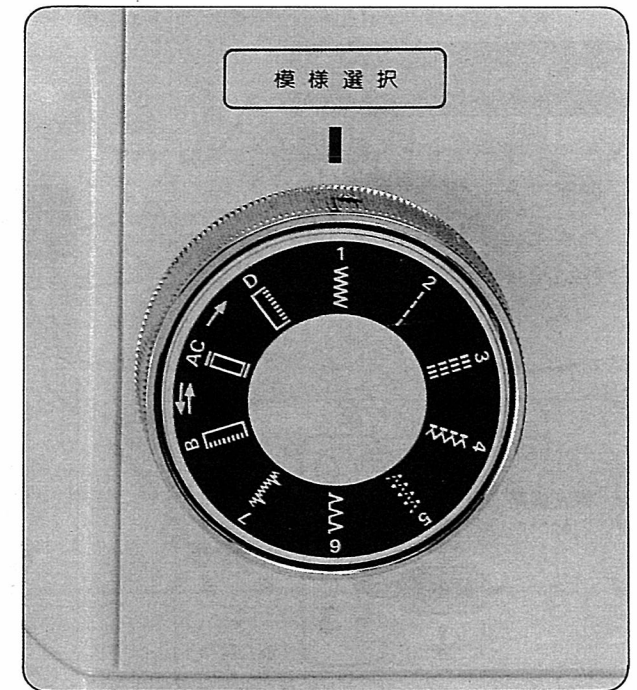


☆縫いの操作方法は、模様表示板に従い、①模様選択ダイヤル(ダークグレー色)→②ジグザグの振り幅調節ダイヤルによるジグザグの振り幅の選定(オレンジ色)→③ぬい目の長さ調節ダイヤルによる縫い目の長さの選定(オリーブ色)の順に行ってください。

☆たとえば、模様選択ダイヤル「5」の模様縫いをする場合、模様選択ダイヤルを「5」に合わせジグザグの振り幅調節ダイヤルはオレンジ色表示の「3～5」に、ぬい目の長さ調節ダイヤルはオリーブ色表示の「1～2」に合せて縫えばよいのです。

※各色とも数字の右側の丸印にダイヤルの基線と合わせないと、正しい縫い目が得られません。

(注意)布地に針が刺さっているとき、また針が押えの針落ち部にあるときは模様を選択しないでください。針が曲がったり、折れたりします。必ず針を上げてから選択して下さい。

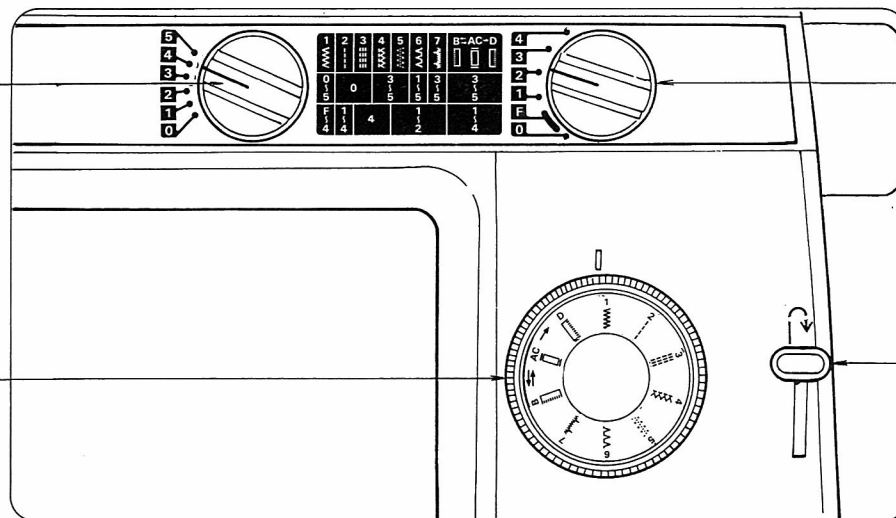


シグザグの振り幅調節ダイヤル

☆シグザグの振り幅を調節するダイヤルです。数字が大きくなるほどシグザグの振り幅が広がります。

模様選択ダイヤル

☆縫い模様を選ぶダイヤルです。



ぬい目の長さ調節ダイヤル

☆縫い目の長さを調節するダイヤルです。数字が大きくなるほど縫い目の長さは長くなります。

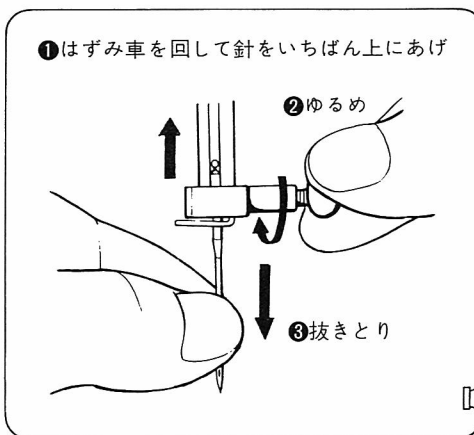
返しぬい用レバー

☆返し縫い用レバーを押すと、押ししている間だけ返し縫いができます。

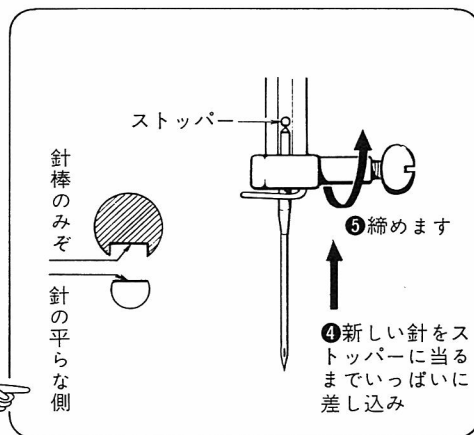
(注意) 中途半端な押し方では正常な縫い目は得られません。

針

取り替えるには……

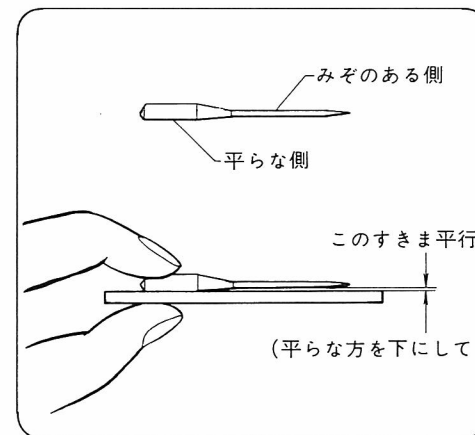


(注意) このミシンに使用するミシン針は、家庭用ミシン針(HA×1)と表示のあるものをお使い下さい。



(注意) 針の平らな側を手前にしては、取り付けられません。

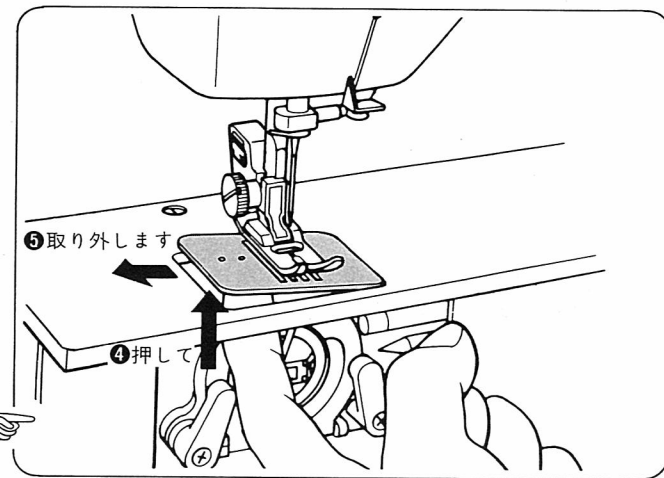
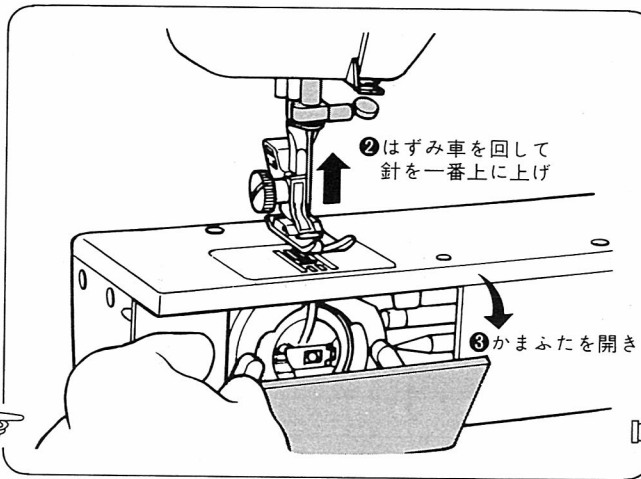
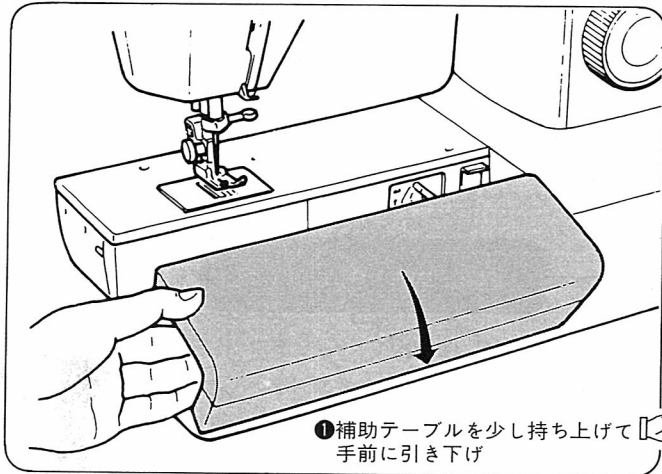
正しい針のしらべ方……



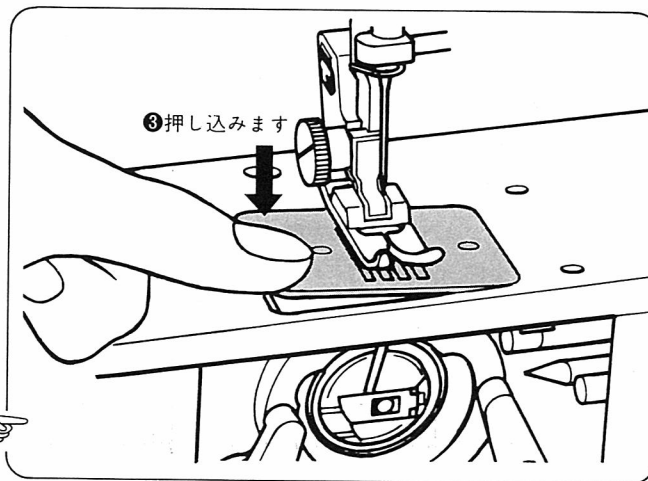
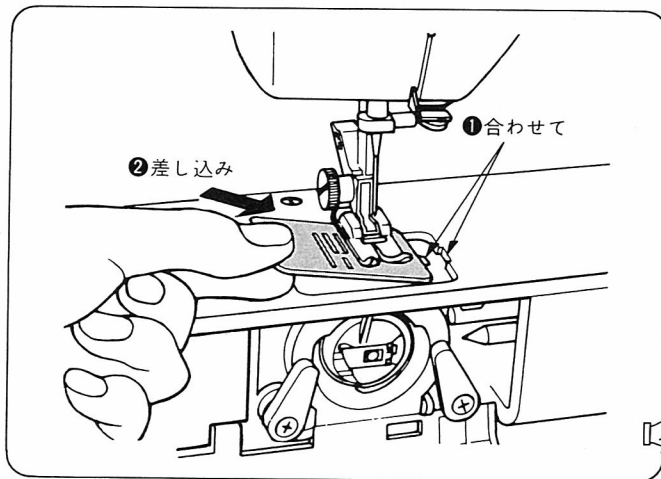
☆針が曲がってはいけません。☆針の曲がりを調べるには、平らな物(針板、ガラス板など)の上に乗せ、明るい所ですかしてみたとき、針の下側のすきまが針先まで平行に見えるのが良品です。

針板

取り外すには……

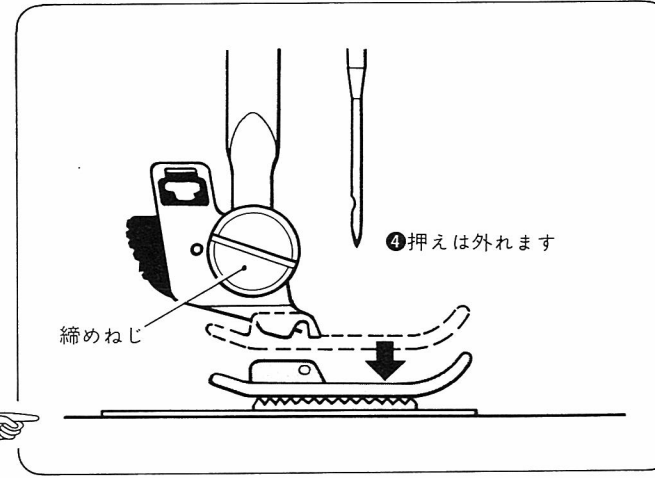
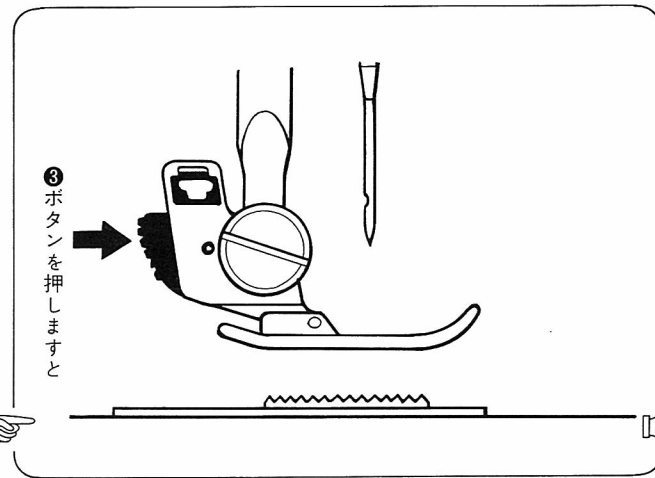
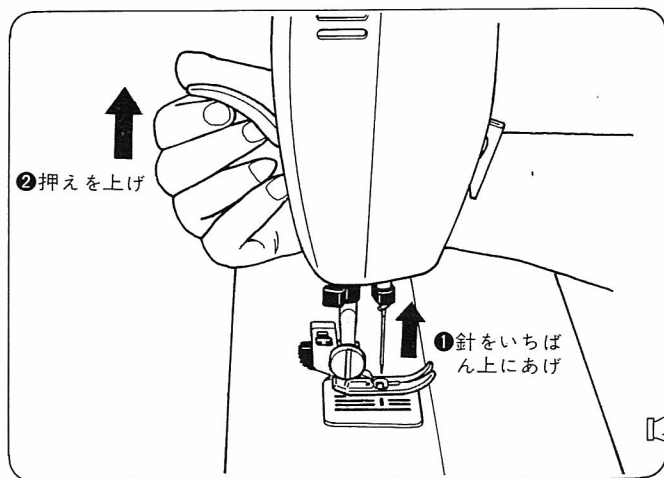


取り付けるには……



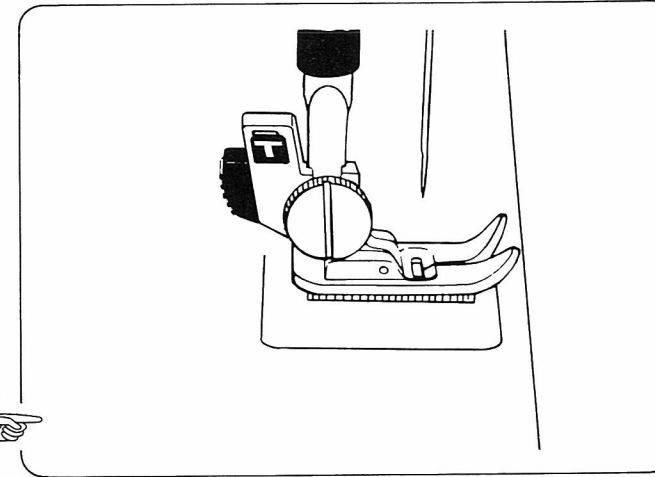
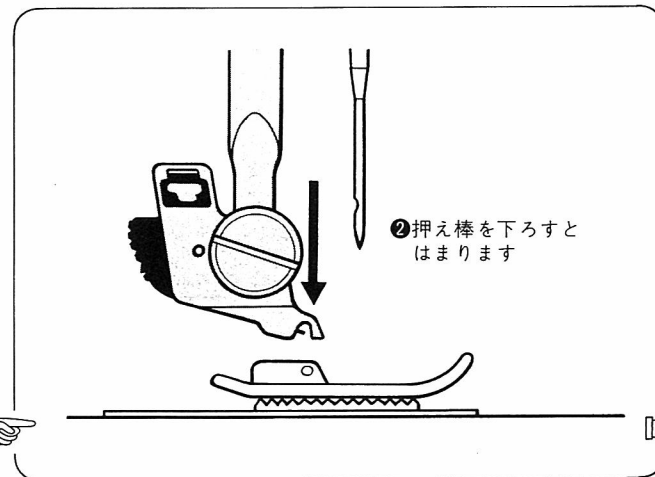
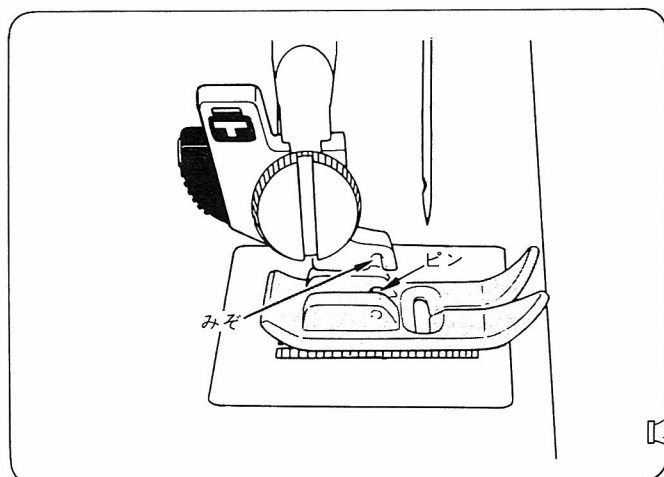
押え

取り外すには……



※押えは、締めねじを外さなくても外れます。

取り付けるには……




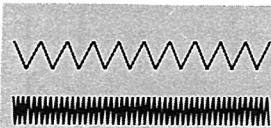
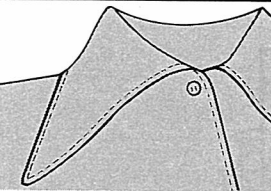

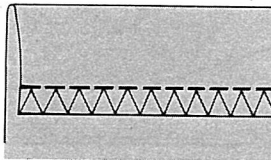
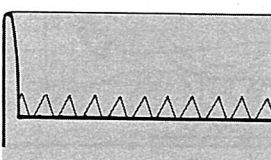
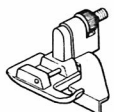
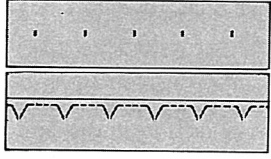
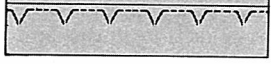
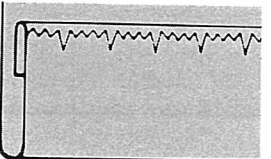
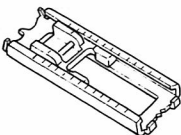
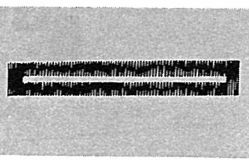
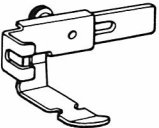
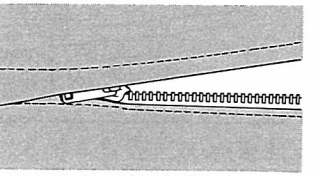
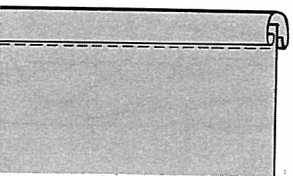
① 押えホルダーのみぞの真下に押えのピンがくるように位置を定め押えをおきます。

(注意) ☆取り付けるとき、押えが針に当たらないようにして下さい。

付属品

……いろいろな押えとその利用

☆押えの取り付け方、取り外し方は6ページをごらん下さい。

<p>ジグザグ押え</p>  <p>※ミシンに付いています。</p>	 <p>ジグザグ縫い <20ページ></p>	 <p>直線縫い <14ページ></p>
<p>裁ち目かがり押え</p> 	 <p>オーバーロックステッチ<26ページ></p>	 <p>ジグザグ縫い <26ページ></p>
<p>まつり縫い押え</p> 	<p>表</p>  <p>裏</p>  <p>ブラインドステッチ<28ページ></p>	 <p>ジャーマンブラインドステッチ<28ページ></p>
<p>ボタン穴かがり押え</p> 	 <p>ボタン穴かがり<23ページ></p>	
<p>片押え</p> 	 <p>ファスナー付け<30ページ></p>	 <p>落としミシン <32ページ></p>

その他の付属品

ボビン



下糸巻き用(4個入り)

リッパー



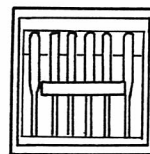
ボタン穴のカッティング
縫い目ほどこきなど

ミシンブラシ



送り歯・かま部などの掃除用

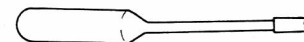
ミシン針



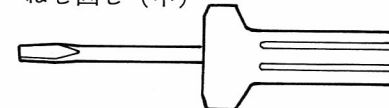
キイ針11番……………(薄物縫いに)
アカ針14番……………(一般縫いに)
ミドリ針16番……………(厚物縫いに)
ゴールデン針11番…(薄物、伸縮地の縫いにストレッチ押えと併用して下さい。)

(注意)このミシンに使用するミシン針は家庭用ミシン針(HA×1)と表示のあるものをご使用下さい。

油差し

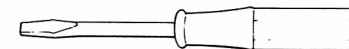


ねじ回し(中)



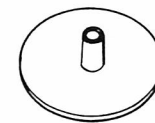
ねじ一般用

ねじ回し(小)



下糸調子の調節用

糸こま台座



糸立棒座

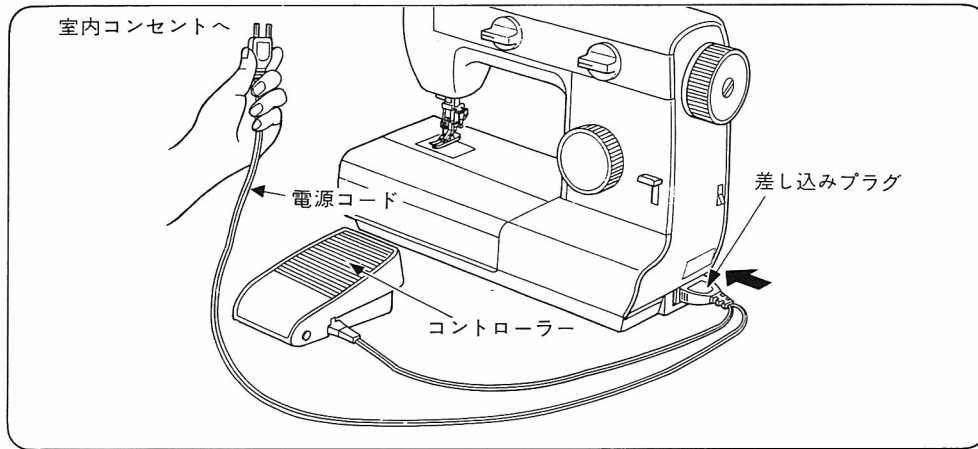


✿ 運転のしかた ✿

☆ミシンは正しい位置と姿勢で使うよう心掛けましょう。

身体が中心が、ミシンの針棒の中心に向くように自然な姿勢で仕事ができるようにします。

◆結線のしかた



(注意) ご使用中に布や紙などでコントローラーの通風穴をふさがないようにご注意ください。

◆速度調節のしかた



☆ペダルを最初の位置にもどしますとミシンの回転はとまります。

☆コントローラーは強く踏むほど回転が速くなります。

(注意) 空回転するときは必ず布押えを上げた状態で行って下さい。布押え面をキズつける恐れがあります。

◎ミシンを使用しないとき……

- ※電源コードを必ず室内コンセントから外して下さい。
- ※電源コードは、必ず差し込みプラグを持って抜いて下さい。
- ※コントローラーの上にものを乗せないで下さい。

☆ミシンモーターの軸受には、特殊な焼結含油合金軸受を使用し、その周囲には油を含ませたフェルトがまいてありますから、長期間連続してご使用になっても差支えありません。

☆ミシンを連続してお使いになりますと、モーターとコントローラーは少し暖かくなります(最高・室温プラス25°位)が性能上はまったく差支えありません。

☆モーターの運転中にブローラーと反対側のモーターブラケットの通風穴から小さな火花が見えますが、これはカーボンブラシと整流子との間で整流作用が行なわれるため出る火花ですから、安心してそのままお使い下さい。

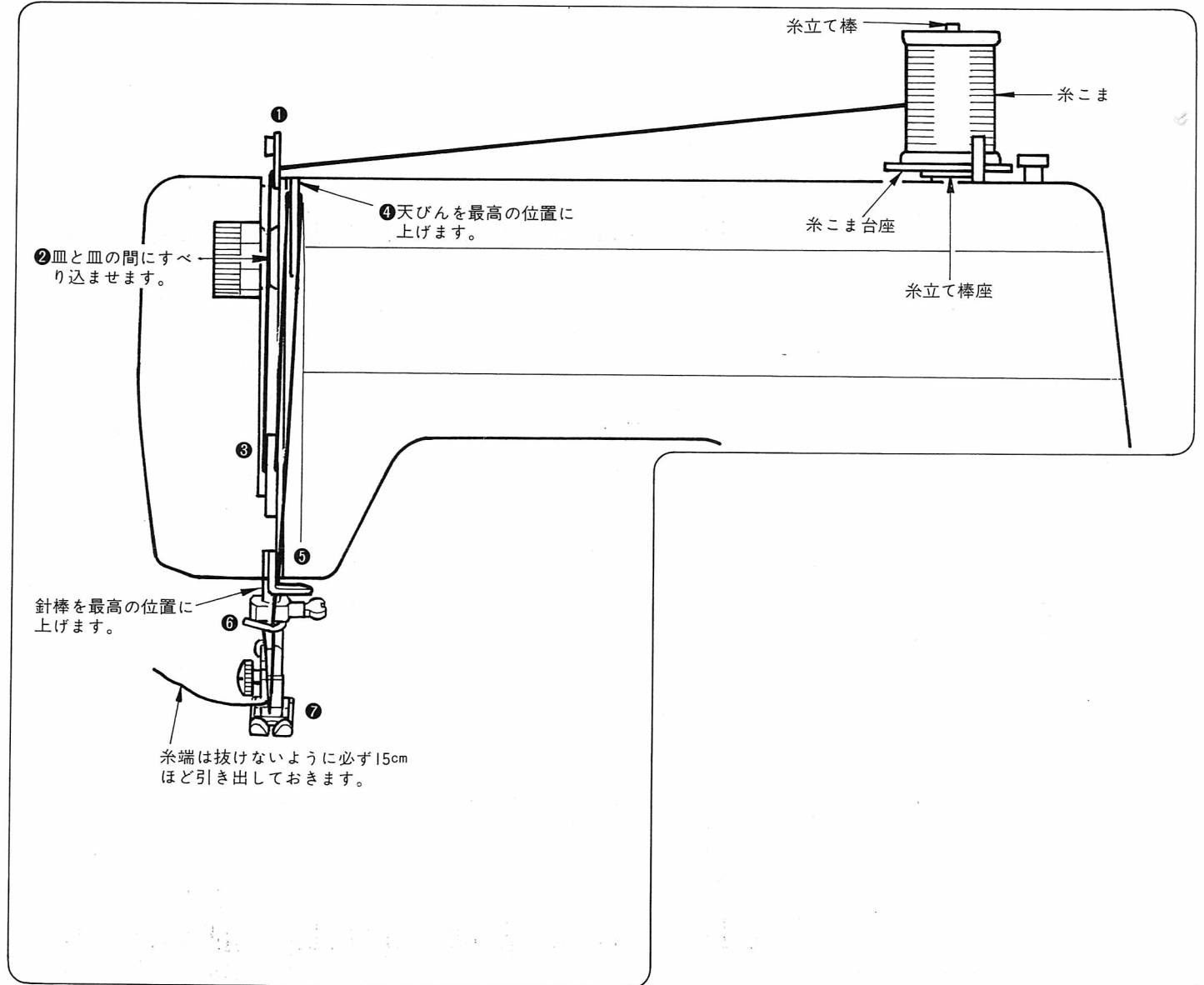
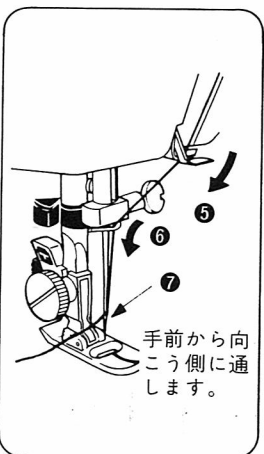
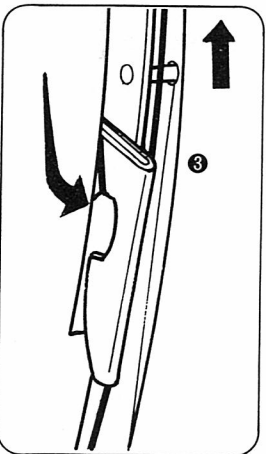
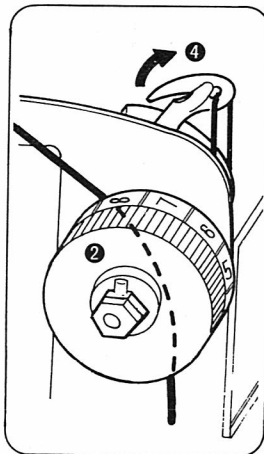
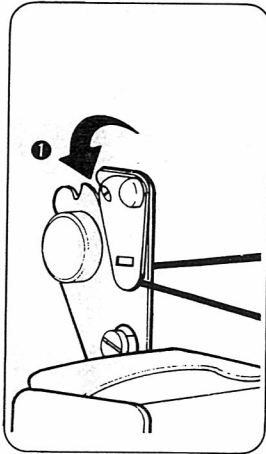
※万一故障がありましたらブラザーの販売店にお申し付け下さい。

✿ 使 い 方 ✿

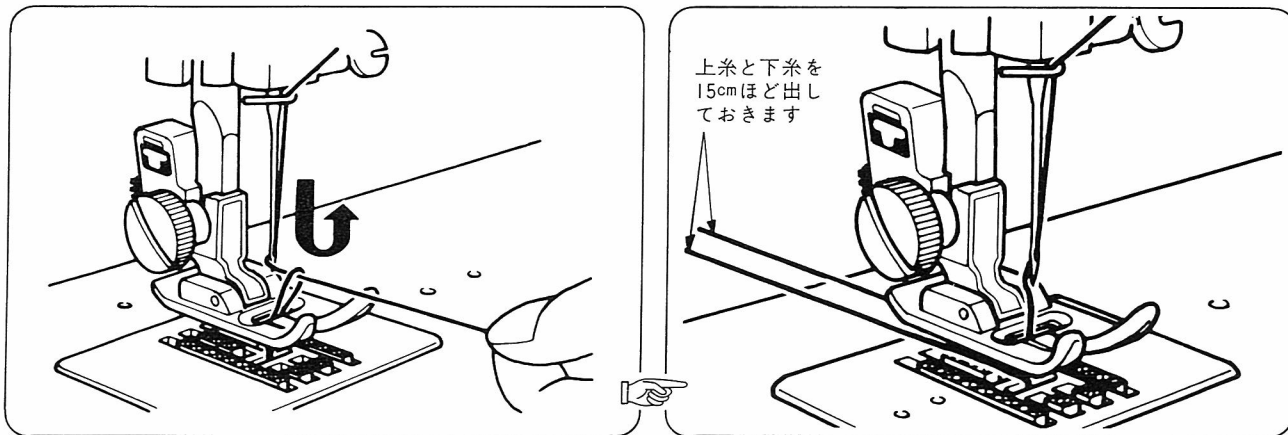
Ⅰ. 上糸の掛け方

☆上糸のかけ方を間違えますと、裁縫ができませんから、よくおぼえて下さい。

☆糸こまと糸こま台座を組合わせて糸立て棒に差し、天びんを一番上にして押えを上げてから番号順に糸を掛けて下さい。糸立て棒は、真すぐ引き上げれば出ます。



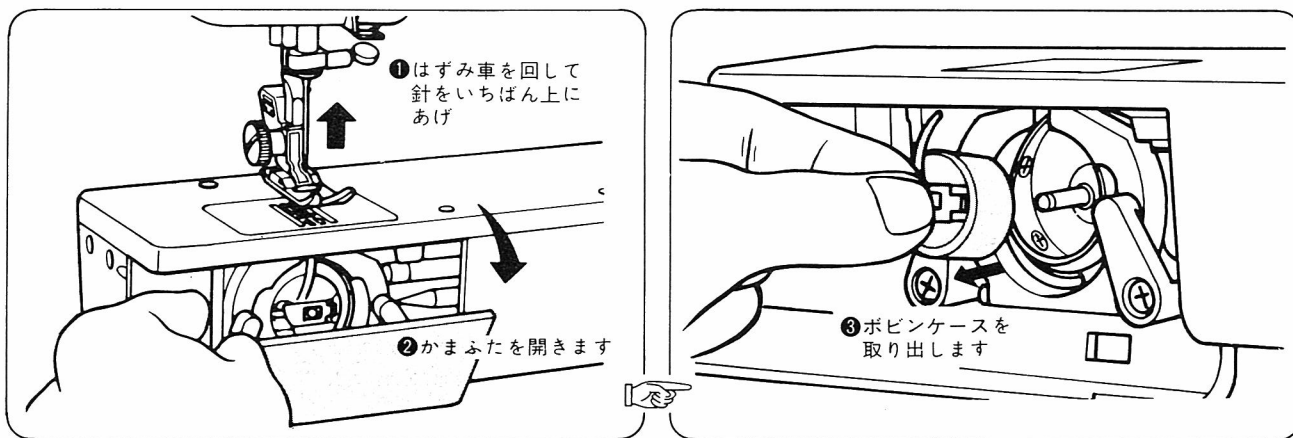
2. 下糸の引き上げ方



☆針は一度下ってまた上ってきますから、上りつめたところではずみ車を止め、上糸を引くと、上糸は下糸を捕えて針穴から輪になって出てきますので、そのまま引き出して下さい。

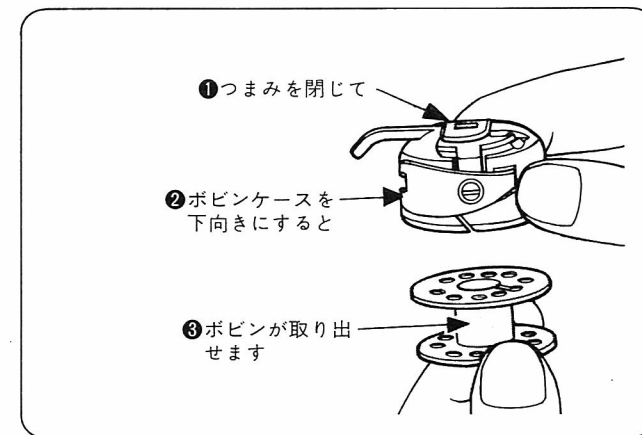
3. 下糸の準備

(1) ボビンケースの取り出し方



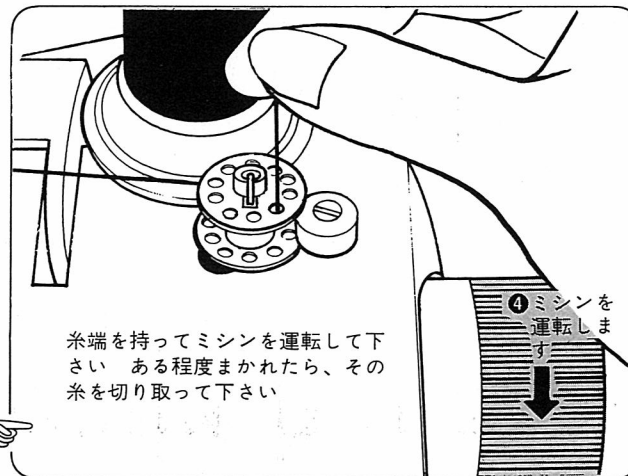
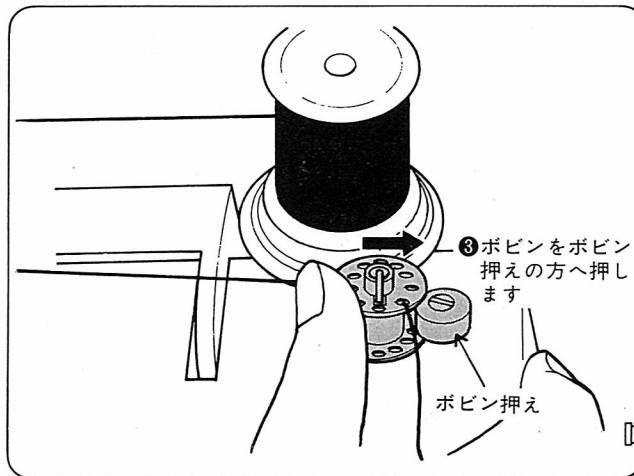
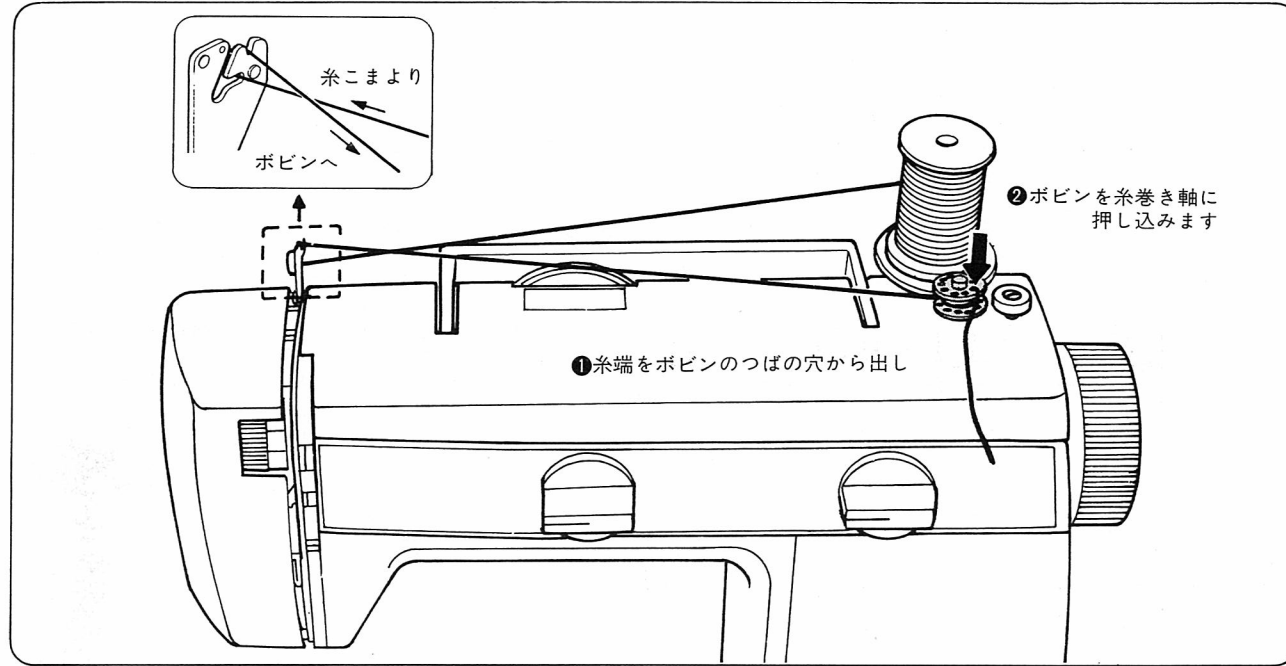
(注意) 針が下がっているときは取り出せません。

(2) ボビンの取り出し方



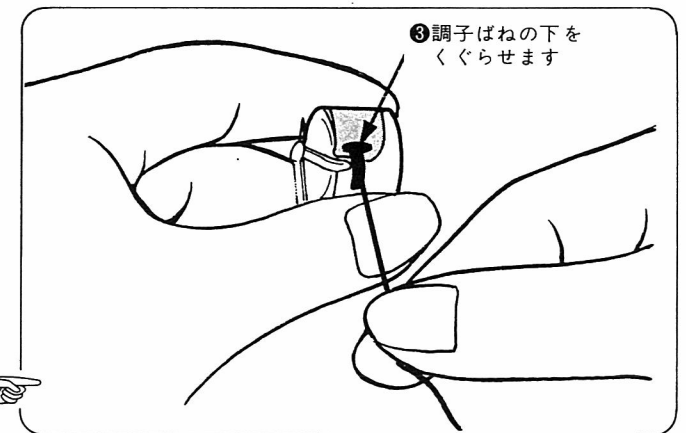
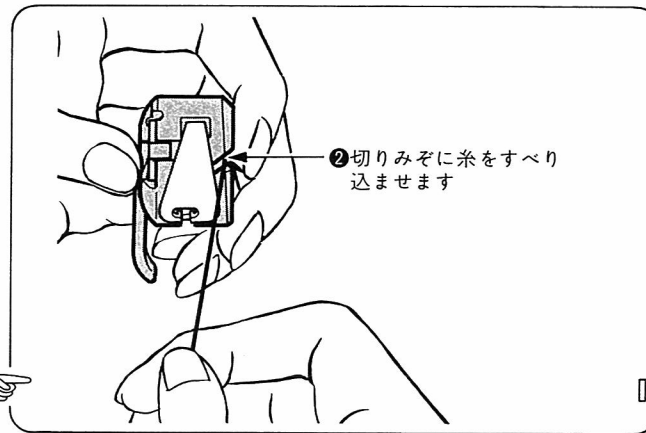
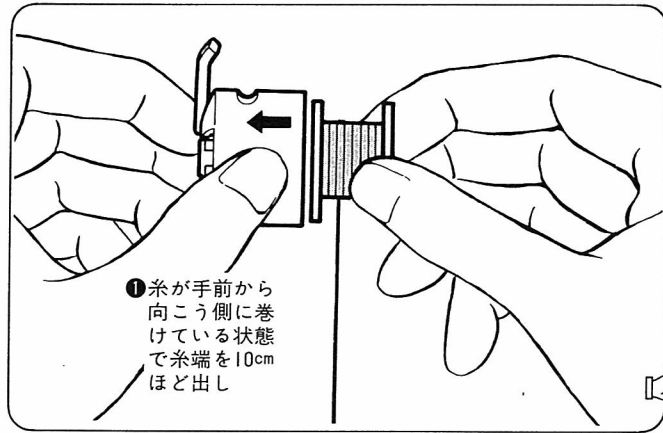
(注意) ボビンケースのつまみを持っている間は、ボビンケースを下向きにしても、ボビンは落ちないようにになっています。

(3) 下糸の巻き方



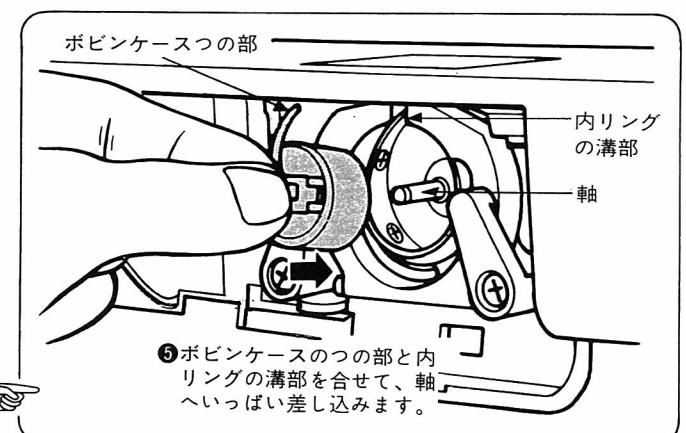
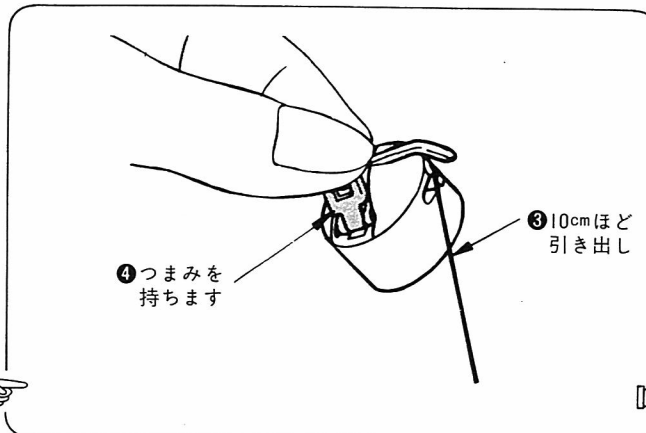
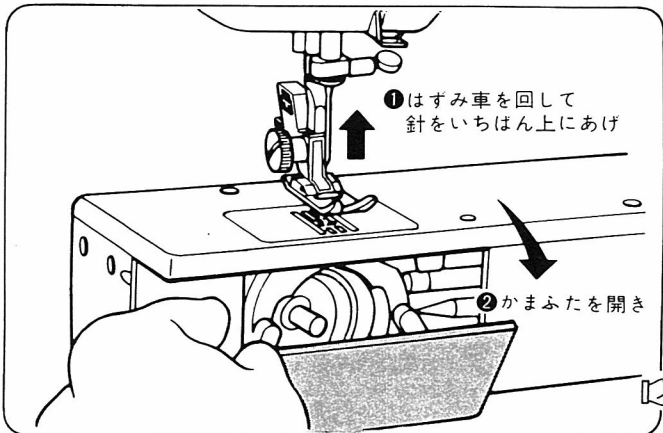
☆ボビンに糸が巻き終ると、ボビンの回転は自動的に停止します。ミシンは回転しつづけますのでご注意ください。コントローラーをふむのをやめてミシンを停止させ、ボビンを左側に押しつけてボビン押えからはずし、ボビンを取り出し、糸を切ります。

(4) ボビンケースへの糸の通し方



(注意) ボビンケースのつまみを起したままでは、ボビンは確実にケースの中に入りません。


(5) ボビンケースの取り付け方



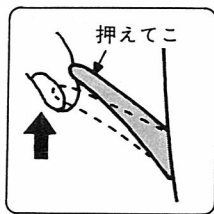
(注意) つまみは、いっばいに開いて下さい。

(注意) しっかりと差し込んでない場合は、ボビンケースが始動とともに、とび出してしまいます。

4. 布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方……この表はいろいろな縫い方すべてに関係しますのでよくおぼえて下さい。

	布地・ミシン糸・ミシン針の関係			糸調子のとり方	押えの強さ	ぬい目の長さ		ジグザグの振り幅	
	布地	ミシン糸	ミシン針			ぬい目の長さ調節ダイヤル			ジグザグの振り幅調節ダイヤル
						直線縫い	ジグザグ縫い		
薄物縫い 	ローン	カタン糸 80番	9番	ふつうより ややよわく 	1	1~2	1~4	1~3	
	トリコット	合織ミシン糸 60番							
	ジョーゼット(絹)	絹ミシン糸 50番							
	ウールジョーゼット	絹ミシン糸・合織ミシン糸 50番	11番						
普通物縫い 	ギンガム	カタン糸 60番~80番	11番~14番	ふつう 	2	1~4	F~4	1~5	
	薄手ジャージ	絹ミシン糸 50番 合織ミシン糸 60番	11番						
	ギャバジン、フラノ	絹ミシン糸 50番							
厚物縫い 	デニム	カタン糸 50番	14番~16番	ふつうより ややつよく 	2	2~4	1~4	1~5	
	ジャージ	絹ミシン糸・合織ミシン糸 50番	11番~14番						
	ツイード	絹ミシン糸 50番	11番~14番						

厚物縫いの場合…
 布地が厚くて押えの下へ入れにくいときは、右図のように押えてこをさらに押し上げて下さい。



※送り込みの悪い布地を使用する場合は押えの強さを1~3の範囲で調整して下さい

※上記以外にも縫い方、裁縫条件によって糸調子が変わってきますから適宜調整して下さい。

※ミシン針・ミシン糸のお求めはブラザーミシンの取り扱い店へ……粗悪な安物をご使用にならないようご注意ください。

※このミシンに使用するミシン針は家庭用ミシン針と表示のあるものをお使い下さい。

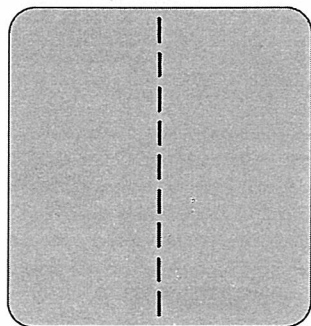
※薄物・伸縮性の布地の縫い合わせには、ゴールデン針をご利用下さい。この場合、別売(P47)のストレッチ押えと併用してお使い下さい。

※普通物・厚物にはゴールデン針を使用されますと針が折れる恐れがありますので、普通のミシン針をご使用下さい。

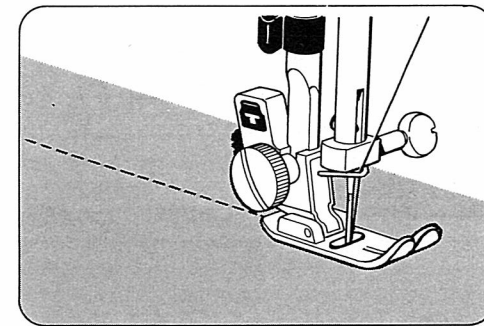
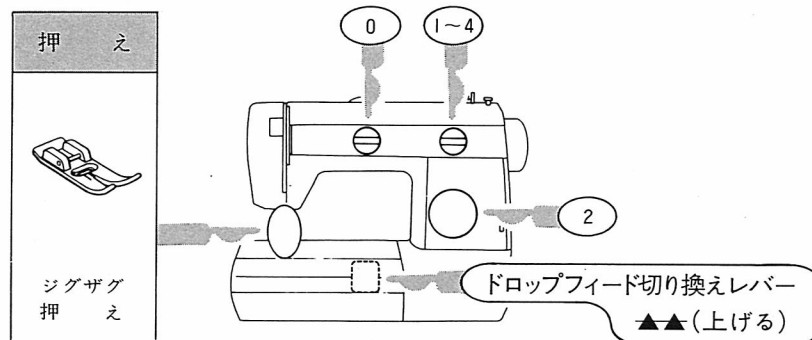
※厚物縫いの場合、低速で縫って下さい。

直線縫い

……ミシンの準備ができたら縫ってみましょう。正しいミシンのセットのしかたをおぼえ美しく縫いましょう。

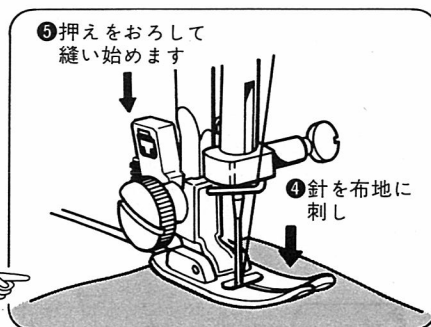
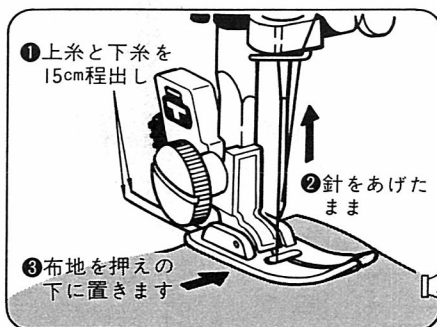


☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと直線縫いができます。

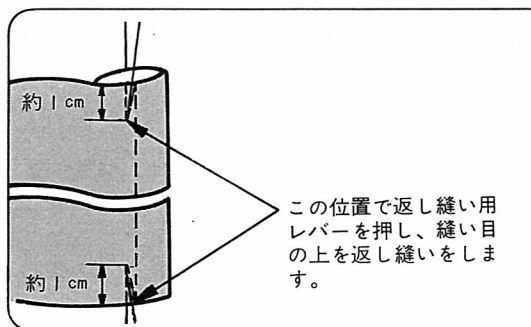


☆布地は送り歯の作用で自動的に送られますから、手は縫い物を縫いたいと思う方向へ導くだけにして下さい。

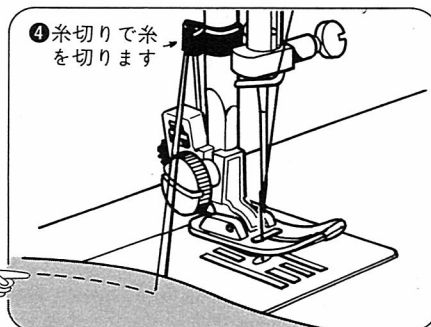
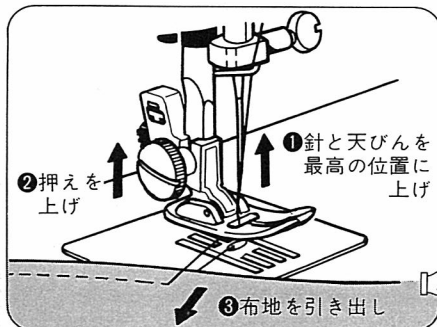
縫い始め



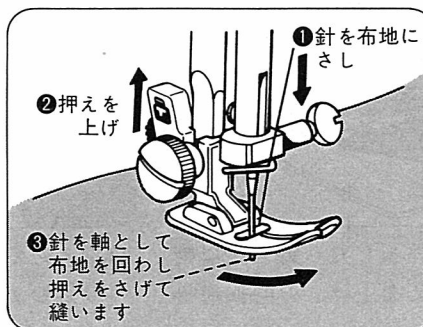
止め縫いのし方



縫い終り



縫い方向の替え方



注意

1. 縫いはじめ……下糸はかならず引き上げてから縫って下さい。布地はかならず押えの下いっぱいに入れて下さい。もし、布地が送り歯にかかっていないと縫えません。
2. ミシンが停止している状態で針が布地に刺さっているとき、ジグザグダイヤルは絶対に動かさないで下さい。動かしますと針が折れたり曲がったりします。

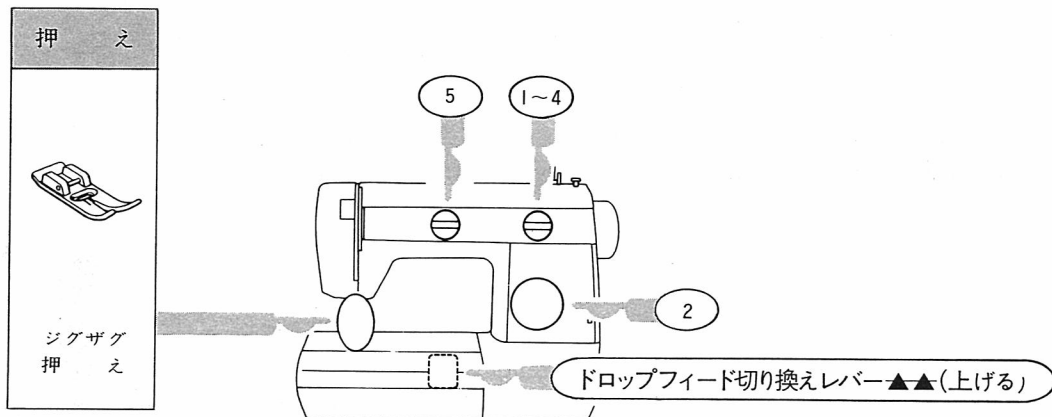
◆こんな場合には

☆布の厚みが押えの下に入らないもの、針がモーターの力で刺さらないものは縫えません。

ポケットやカフス・えり・前立て・ベルト・薄地でのダーツ・端ミシンなどは、普通に縫い始めたのでは布地が押えと送り歯でしっかりと固定されず、布地がスムーズに送られません。従って、縫い目が不揃いになり、きたないものになります。縫い方により、つぎのようにミシンを合わせて縫って下さい。

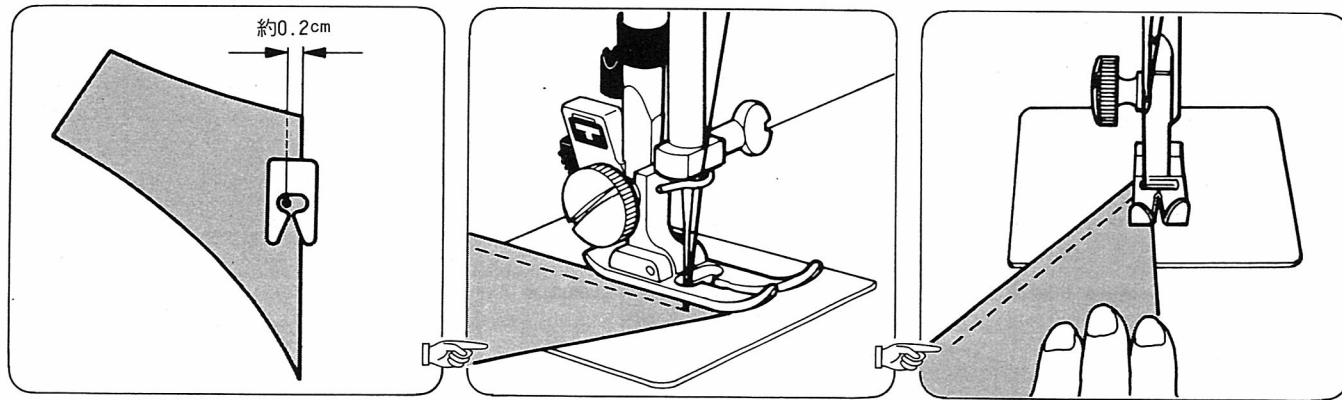
《えり・カフス・前立て・ベルトなどの飾りステッチを縫う場合》

★ミシンの合わせ方



★縫い方例

☆シャツカラーの飾りステッチのように先がとがったような部分を縫う場合は、つぎのように縫います。



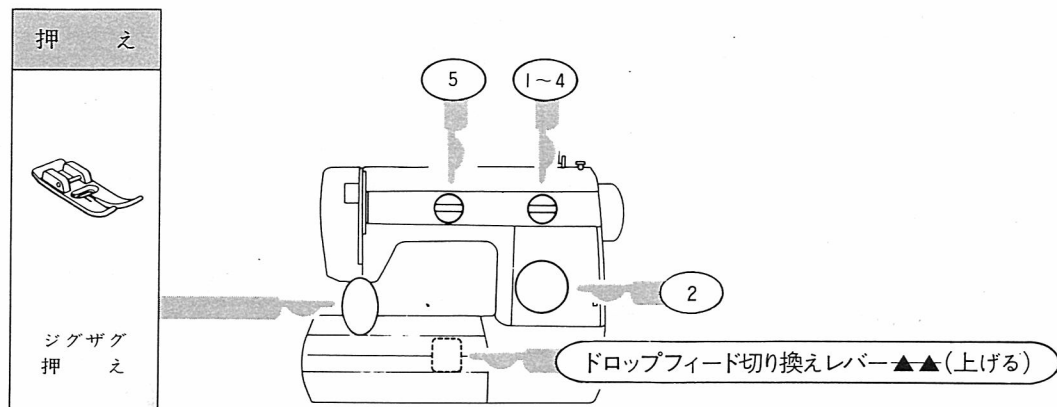
①右端より約0.2cm位のところを縫います。

②先端まで縫いましたら針を布に刺したまま押えを上げ、方向転換をします。

③押えをさげて2~3針布を手で送り込むようにして縫います。

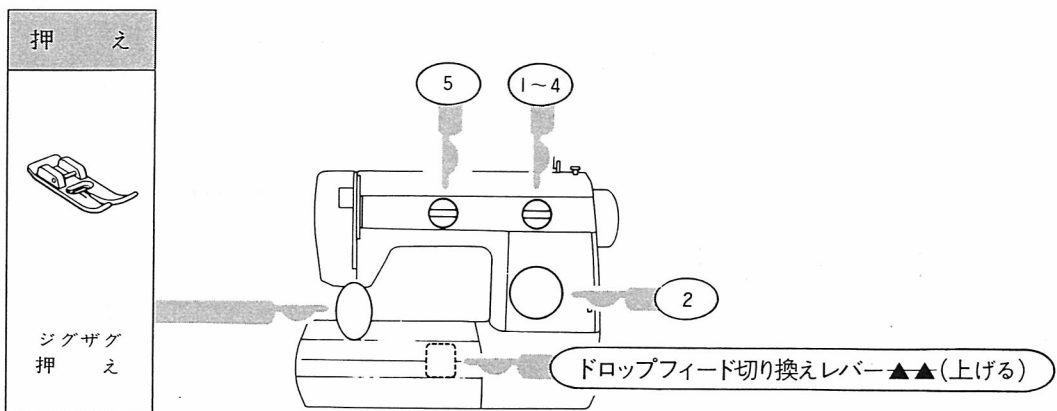
《三つ折りを縫う場合》

★ミシンの合わせ方

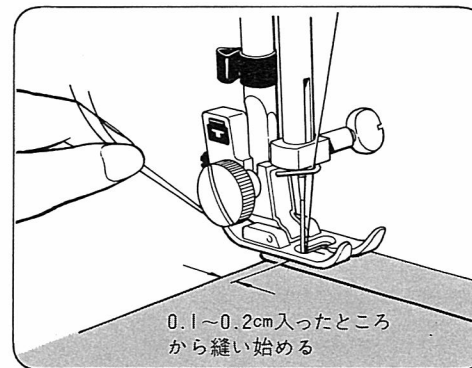


《段縫いを縫う場合》

★ミシンの合わせ方

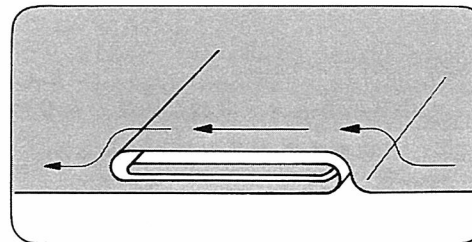


☆縫い方例



布端より0.1~0.2cm入ったところより、縫い始めの上下の糸を向こう側に引っ張りながら縫って下さい。

☆縫い方例

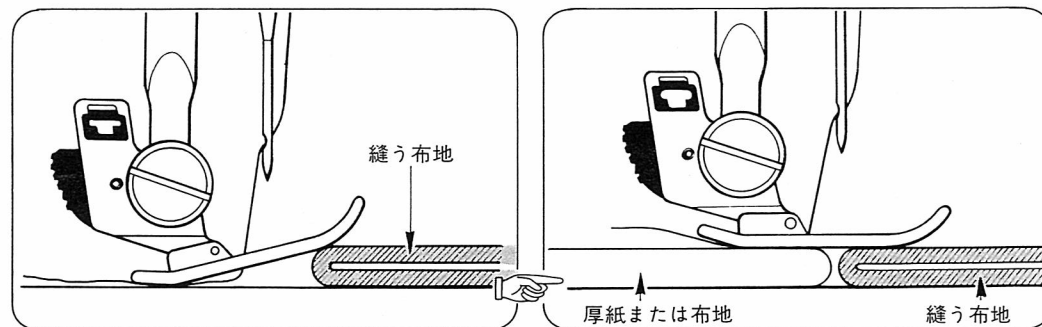


縫い代の重なりによって極端に厚みの差ができていところにミシンをかけるときは、薄いところと厚いところの差によってしっかり布が固定されないため、布地がスムーズに送られなかったり、縫い目がとんでしまうことがあります。こんなときは、縫い代を倒した方(薄い方から厚い方)へ向って縫って下さい。また、縫い代を倒す方向が縫い方向とさからってしまい、布地が送られなくなったときは、押えの圧力を弱くして抵抗を少なくし、手で少しずつ布の送りを助けながら縫います。

《布端より縫う場合》

薄地の場合……縫い始めの上・下の糸を向こう側に引っ張りながら低速で縫って下さい。

厚地の場合……図のように押えが傾いて、布地がスムーズに送られず、縫えません。こんな場合は、同程度の厚さの布地または厚紙を押えの下に置いて縫って下さい。



《デニム地を縫う場合》

縫う前の準備

☆縫い糸……できるだけデニム・ジーンズ用として市販されている糸を使用して下さい。

☆ミシン糸・ミシン針と縫い目の選択

ミシン糸の太さ	30番	20番	50番
ミシン針の番号	16番	16番～18番	14番
縫い目の長さ	0.3～0.4cm	0.4cm	0.3cm

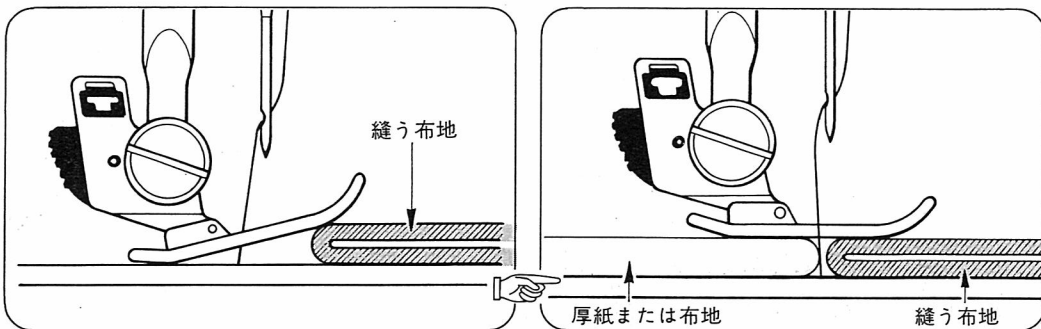
※繊維に関係なく、通常は上表の枠中の組み合わせで縫って下さい。

☆縫い方

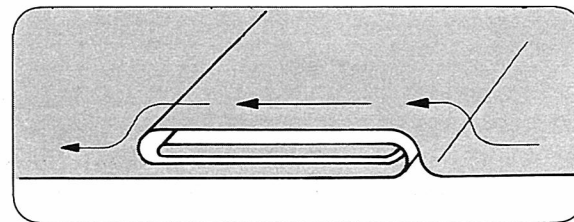
◎ 2枚合わせから6枚または8枚合わせ（3枚合わせから9枚合わせ）位になると、布押えが傾き、送り歯に対して平行に圧力が加からず、送りが悪くなりますので手で布送りを助けてやって下さい。（布地を多少引きぎみにするか、ミシンを一度止めて押えてこを上げ、布押えの下に布地の段部を入れます。）

◎ 4～6枚合わせを最初から縫う場合は、押え圧力を多少弱くして布地が送られやすいようにして縫って下さい。ミシン針が刺さりにくい場合は、手ではずみ車を半回転させて針を布地に刺した状態で縫い出します。

◎ 縫い途中で段になっている場合……布押えの圧力が強くと布押えが段部を昇りにくい（送りが悪くなる）ので、その部分のみ多少弱くするようにして下さい。



図の矢印の方向に縫って行く場合、段になった部分より下降するとき、糸締めりが悪くなるので、布押えが完全に下降するまで糸調子を強くするようにして下さい。



《ニット地を縫う場合》

ジャージ、トリコットなどのニット地で編み込んだものとか、プリント印刷したもの、表面化学処理したものを、4～6枚合わせて縫った場合、針が刺さりにくく、また太い針で縫いますと編糸が切れる恐れがあります。こんな場合ミシン針を細番手9番～11番に取り替え、縫い糸は、絹糸・テロン糸・スパン糸などの50番～60番にすると良いでしょう。なお、ニット地で針抜けが悪く、針が上下するたびに布地がバウンドして縫い目が飛んでしまう場合があります。こんなときは、ゴールデン針と別売(P47)のストレッチ押えを併用して縫って下さい。ゴールデン針で縫い目が飛んでしまう場合は、9番～11番の針を使用すると防止できる場合もあります。

《レザークロスを縫うには……》

レザークロスには、表面に光沢のあるものとなないもの、凹凸のあるものとなないもの、伸縮性のあるものとなないものなどいろいろな種類があります。薄くて粘りがあり、やわらかいレザークロスは伸びやすいので、裁縫はなるべく送りにまかせて縫うようにします。

ビニール部分を表側にしてミシンをかけるときは、針板や押えに布地がはりついてしまい送りがスムーズにいかなくなる場合がありますが、こんなときはビニールの表面に和紙を当てて縫ったり、パウダーをはたいて縫い合わせれば、縫い目の長さが変わることなく縫うことができます。中でもとくに粘りがあり、伸びやすいレザークロスは針抜けが悪くなり、縫い目が飛んで困ることがありますが、こんな場合は、目打ちで針もとのレザーを押え、バウンドしないようにして縫えばきれいに縫えます。

針の刺さりが悪いからといって、太い針で普通の縫い目の長さで縫いますと、ビニール部分がさけてくる恐れがありますので、縫い目の長さをあらくし、11番～14番の針を使用します。

また、やわらかくて伸縮性のある布の中でも場合によっては上糸がそげて切れてしまい縫えなくなることがあります。このような時は、針を糸の太さにくらべて少し太めの針にかえて縫うようにしますときれいに縫えます。

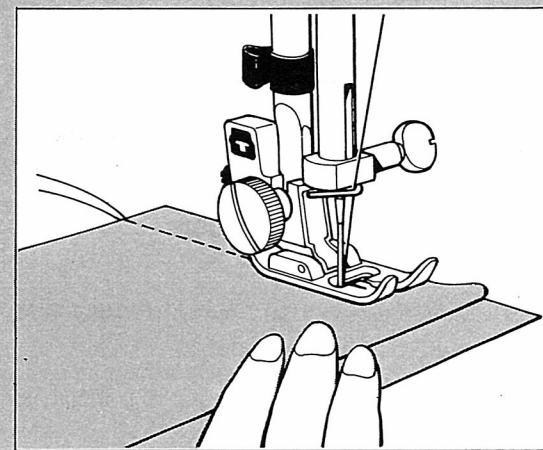
注 意

☆布地の端より縫う場合は、上下の糸を向こう側へ引っ張りながらゆっくりとミシンをかけて下さい。

☆縫い代の重なりによって極端に厚みの差ができているところにミシンをかけるときは、薄いところと厚いところの差によってしっかり布が固定されないため、布地がスムーズに送られなかったり、縫い目が飛んでしまうことがあります。

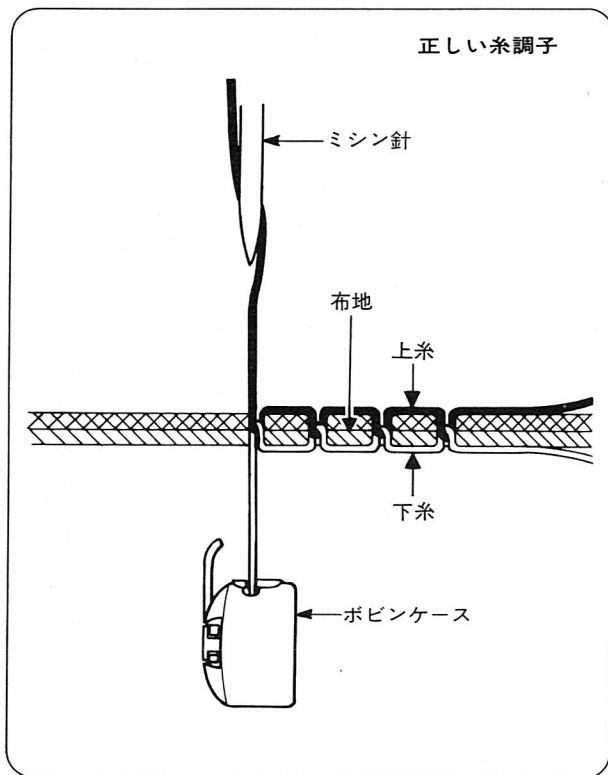
こんなときには、縫い代を倒した方(薄い方から厚い方)へ向かって縫うか、あるいは縫い代を倒す方向が縫い方向とさからってしまう場合等で布地が送らなくなったときは、押え圧力を弱くして抵抗を少なくし、手で少しづつ布の送りを助けながら縫います。

☆布の厚みが押えと針板の間に入らなく、モーターの力で針が刺さらないものは縫えません。



薄い方から厚い方へ

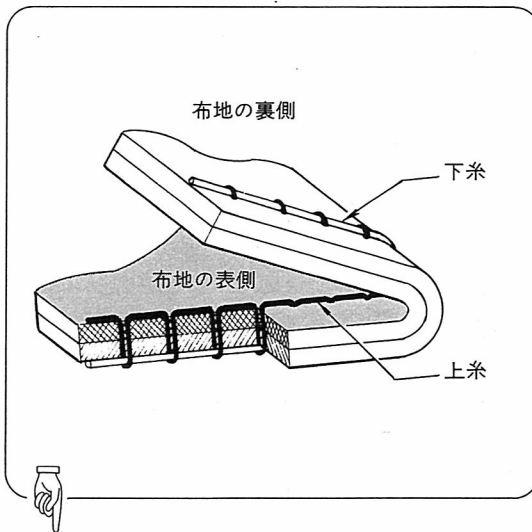
◆直線縫いの糸調子



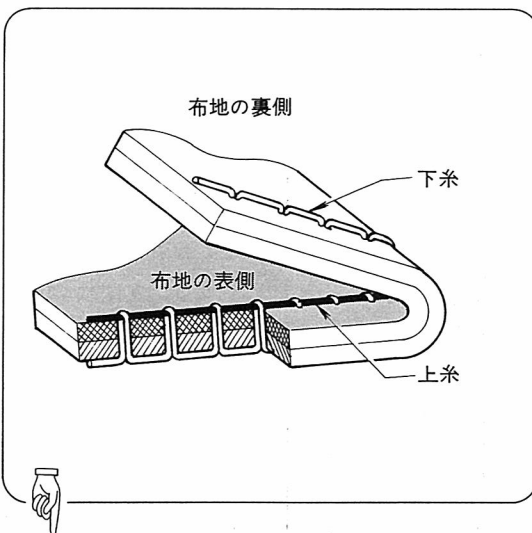
糸調子が正しく調節されていないと縫い目がきたなく、布地にしわがより、ときには糸が切れたりします。こんなときにはつぎのように調節して下さい。

- ① まず下糸の強さをきめます。
普通下糸がひっかかりなくなめらかに出る程度が適当です。
- ② つぎに下糸に合わせて上糸のつよさを調節します。

◎こんなときには……………

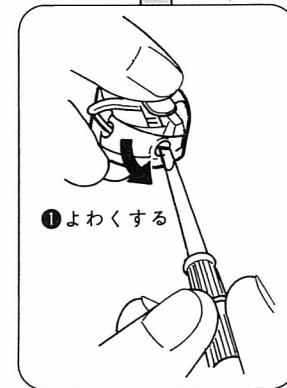
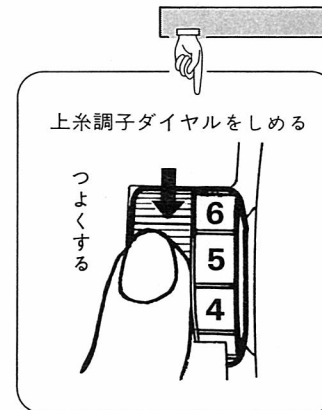


下糸のつよさが…………… 適当な場合

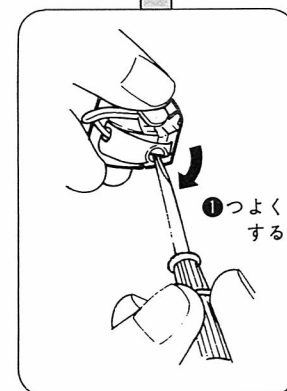
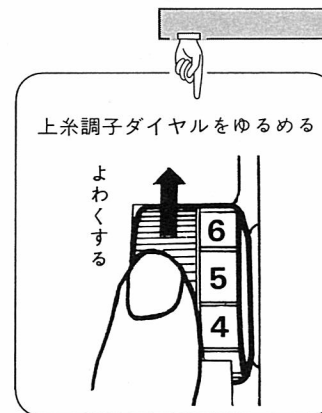


下糸のつよさが…………… 適当な場合

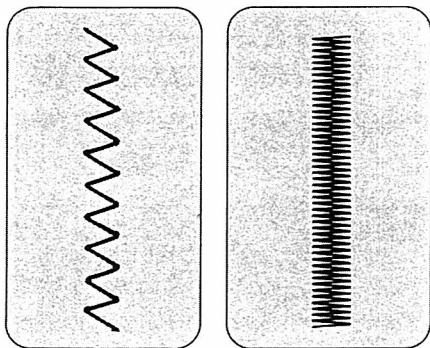
②下糸の強さに合わせる



②下糸の強さに合わせる

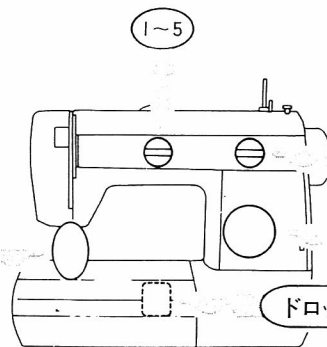
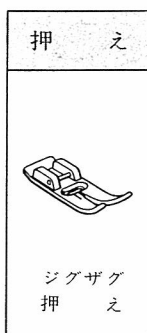


ジグザグ縫い



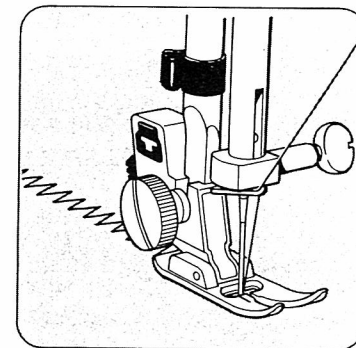
〈普通ジグザグ縫い〉 〈サテンステッチ〉

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとジグザグ縫いができます。

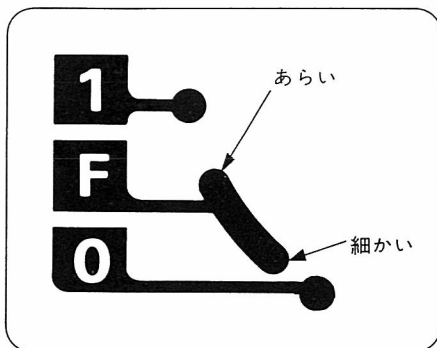


ジグザグ縫い
1~4
サテンステッチ
F

ドロップフィード切り換えレバー▲▲(上げる)



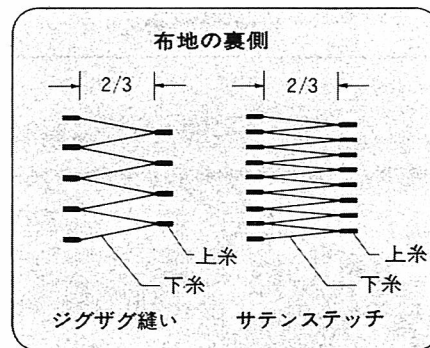
◆サテンステッチは……



☆ジグザグ縫いの縫い目が重ならず下の布地が見えない程度に糸がすきまなくきれいにならんだ状態をサテンステッチといいます。

サテンステッチの縫い目のあらかさは普通Fにあわせませんが、縫い条件により左図の範囲で調節します。

◆ジグザグ縫いの糸調子



☆ジグザグ縫いとサテンステッチの糸調子は布地の裏側から見た場合、下糸がそのジグザグ幅の $\frac{2}{3}$ 程度占めるよう加減します。

糸調子のとりかたは……

19ページの「直線縫いの糸調子」をごらん下さい。なお直線縫いのときよりも上糸をゆるくして下さい。

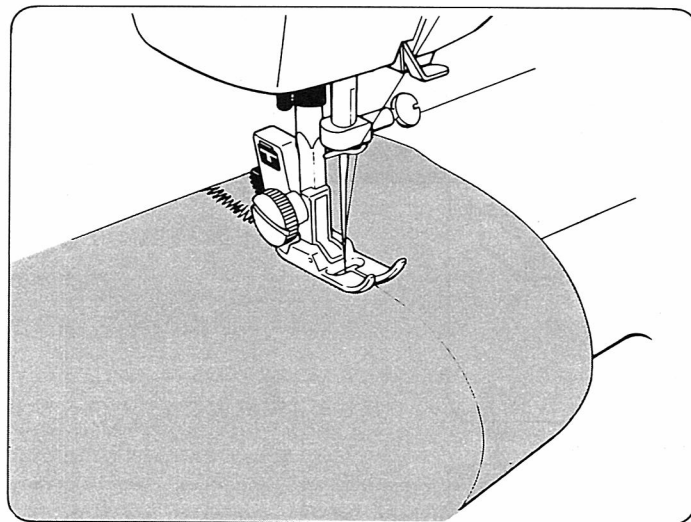
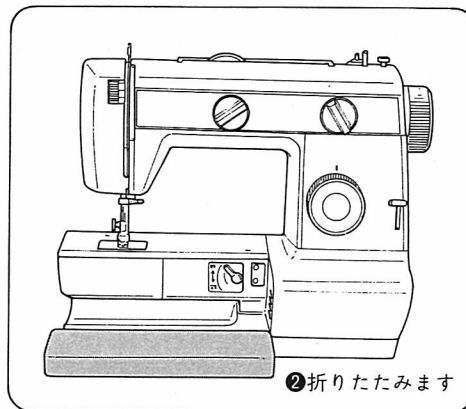
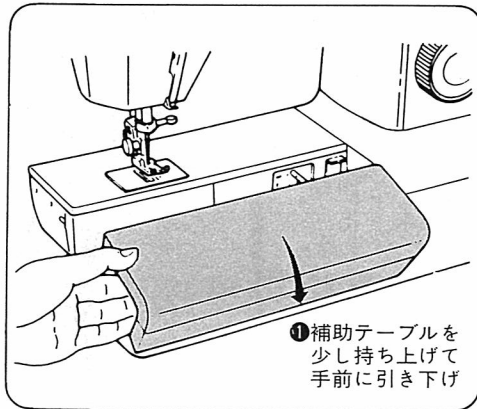
- ◆縫い始め
 - ◆止め縫いのし方
 - ◆縫い終り
 - ◆縫い方向の替え方
- 注意

は「直線縫い」の部分14ページをごらん下さい。

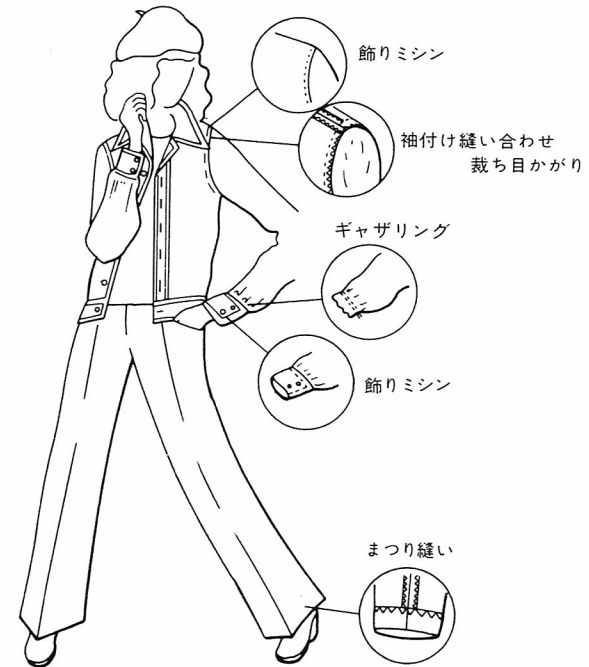
フリーアームの利用のしかた

☆フリーアームはそでの仕立てやカフス付け、ソックスのつくろい縫いなど筒状になったものを縫うときにご利用頂きますと大変便利です。

☆フリーアームとして利用されるときは、下図のようにしてご利用下さい。

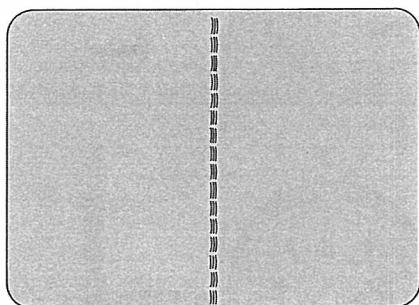


フリーアームはこんなところにご利用下さい

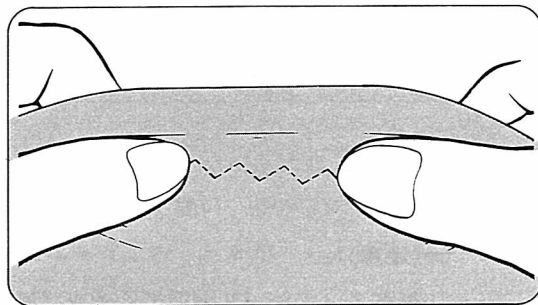


いろいろな縫い方

伸縮縫い



〈三重縫い〉



〈点線ジグザグ縫い〉

☆ジャージー、トリコット、メリヤスなどのように伸び縮みする布地の裁縫をするときは、この方法で縫えば布地が伸びても糸が切れてほつれる心配はありません。



※縫い目が飛ぶときは18ページ参照。

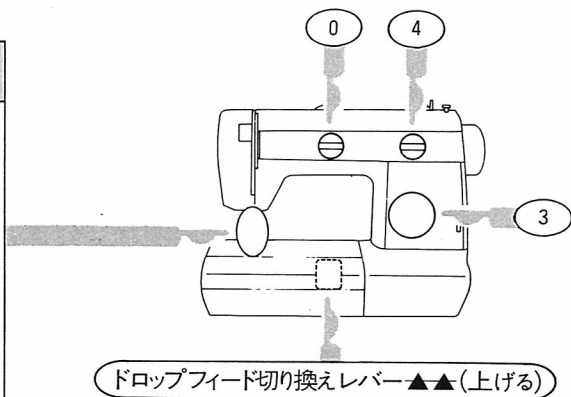
伸縮縫いをするときの注意

糸は50～80番位の絹糸・カタン糸でもよいのですが、ナイロン透明糸を使えば伸縮性もあり、とくに柄編みのものやトリコットの下着の補修にも、縫い目がめだたず美しく仕上がります。

◆三重縫いのとき



☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、三重縫いで伸縮縫いができます。

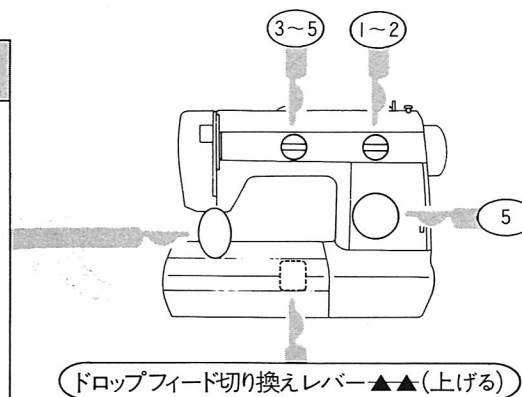
ミシン針	押え
	
ゴールド ン針または 普通の 針	ジグザグ 押え



◆点線ジグザグ縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、点線ジグザグ縫いで伸縮縫いができます。

ミシン針	押え
	
ゴールド ン針または 普通の 針	ジグザグ 押え

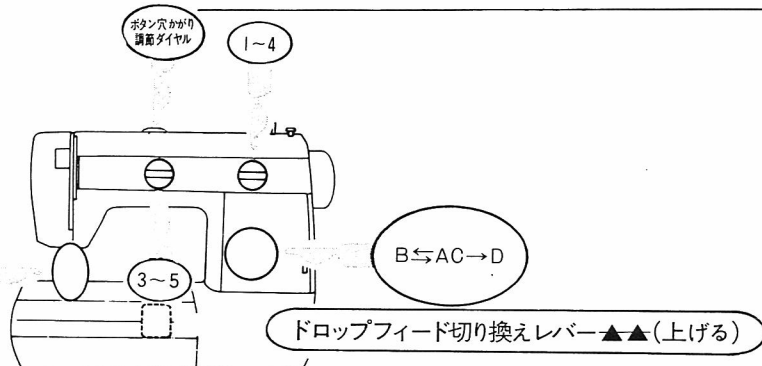
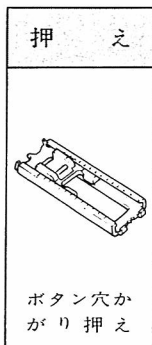


ボタン穴かがり



☆裁縫一般に用います。

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、ボタン穴かがりができます。



(注意)

※ボタン穴かがり調節ダイヤル(縫い目長さ)のセットの手順は25ページ参照。

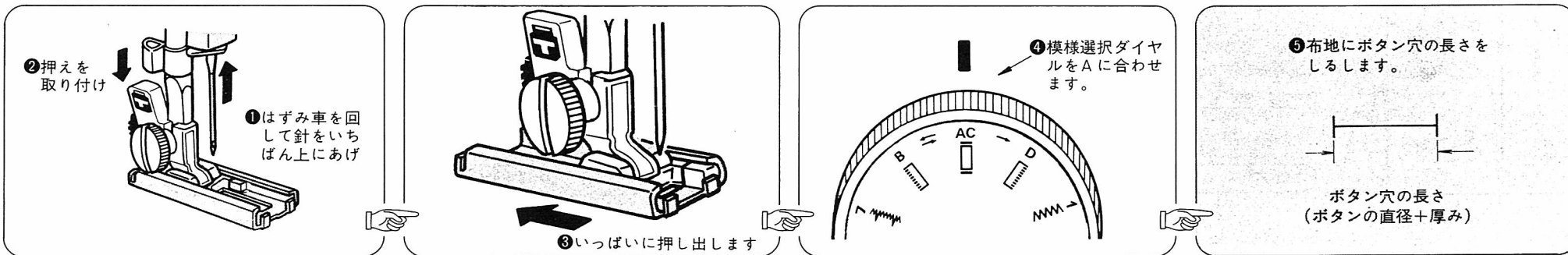
※送り調節ダイヤルはボタン穴かがりの縫い目長さに関係ありませんが、ダイヤルの表示が「0~1」の範囲にあるとボタン穴かがりができません。

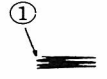
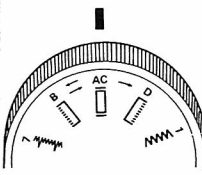
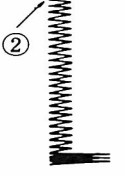
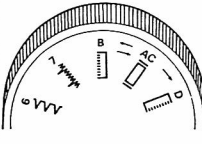
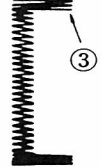
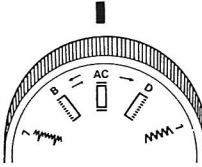
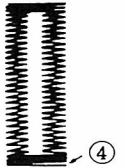
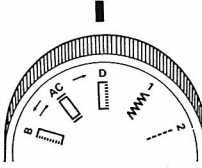
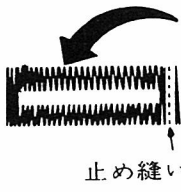
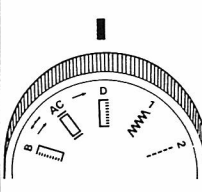
注意

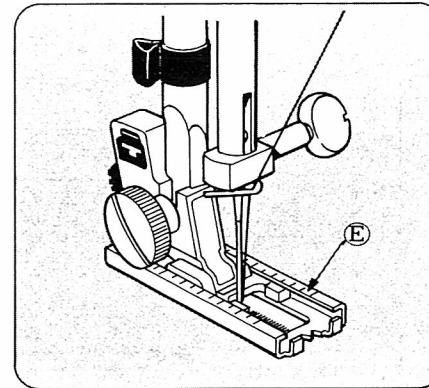
模様選択ダイヤルをAに合わせてから押えをおろして下さい。

※押えの取り替えは6ページ参照。

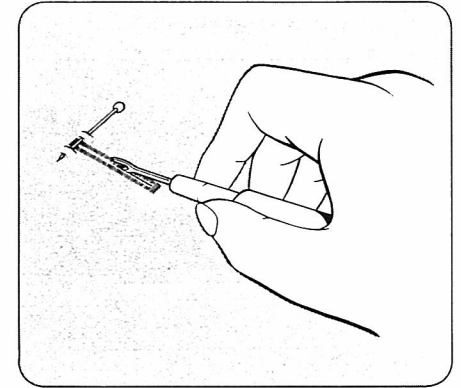
縫い方



縫う順序	模様選択ダイヤル	縫い方
		①模様選択ダイヤルを「A」に合わせ、5～6針かんぬき止めを行ない、運転を止め、針を布から上げます。
		②模様選択ダイヤルを「B」にあわせ、しるしのところまで縫い、針が②のところに落ちたとき運転を止め、針を布から上げます。
		③模様選択ダイヤルを「C」にあわせ、5～6針かんぬき止めを行ない、針が③のところに落ちたとき、運転を止め、針を布から上げます。
		④模様選択ダイヤルを「D」にあわせ、前に縫ったかんぬき止めまで縫い針が④のところに落ちたとき、運転を止めます。
		⑤針を布地にさしたまま、押えを上げ、ジグザグ幅を0にして、布地を左手前方向に90°回し、押えの⑤部（右上図参照）を少し手前に引き出し押えを下ろして前進縫いで5～6針かんぬき止めの中に止め縫いをします。



☆左表の順序に従って縫いますと、ボタン穴かがりができます。

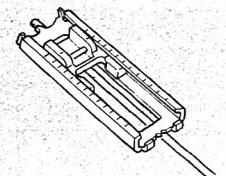


☆かん止めのところにまち針を刺してリッパーで縫い終わったところを切り開きますがこのとき縫い目を、切らないように注意します。

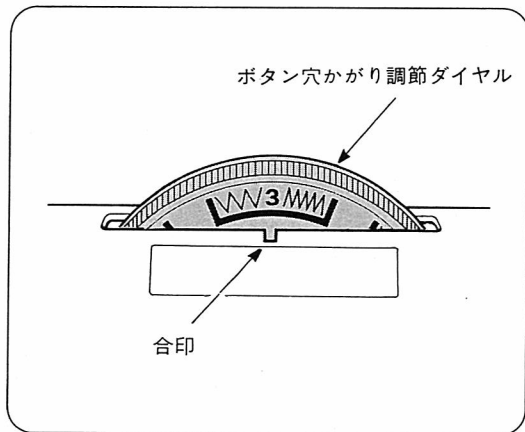
ボタン穴かがりをするときの注意

ジャージやトリコットなど伸び縮みする布地や絹・オーガンジー・デシンなどの薄地にボタン穴かがりをするとき

1. ボタン穴かがりは布地2枚以上合わせて縫います。
2. うす地ですときはボタン穴を細めにし、ジグザグ幅を「3」程度にして縫います。
3. 図のように芯ひもを入れて縫いますと穴部の伸びを防ぐことができます。
4. 穴かがりをしようとする部分の裏側に障子紙のような薄い紙を当てて縫い、縫い終わってから取り除くようにしますと、布地が伸びたり、縮んだりするのを防ぐことができます。



ボタン穴かがり調節ダイヤル



◆このダイヤルはボタン穴かがり専用の縫い目長さ調節ダイヤルです。

☆数字が1～6まであり、数字が大きいほど縫い目長さがあらかくなります。布地と糸にあった縫い目長さ（1～6までの数字）を選んで合印に数字を合わせて下さい。

※ブロード地2枚合わせのときは、ダイヤル表示の数字「2」又は「3」の数字を合印に合わせて下さい。


☆このようにして、一度選んだ縫い目長さは、ダイヤルを回さないかぎりかわりません。他の裁縫後にも前と同じボタン穴かがりを作ることができます。


◆ボタン穴かがり調節ダイヤルの使い方（ボタン穴かがりの左・右の縫い目長さが違う場合）

☆このダイヤルは、表示数字(1～6)のすべてにおいて左側の縫い目長さが基準になります。右側の縫い目長さは、左側と同じ縫い目長さで縫えるよう下記手順によって調節して下さい。



【ダイヤルの合わせ方手順】



- ①合印にダイヤル表示を「3」に合わせ、左側縫い目（後進縫い）を縫います。
- ②でき上がった左側の縫い目長さが……

①  の場合は、ダイヤル表示を「2」または「1」に合わせ左側の縫い目を縫います。

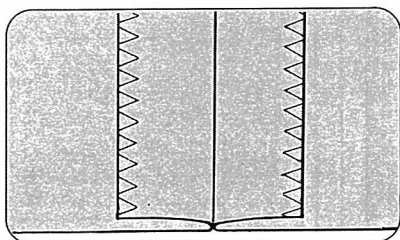
②  の場合は、ダイヤル表示を「4」または「5」「6」に合わせ左側の縫い目を縫います。

③次に右側の縫い目を縫います。
その縫い目が

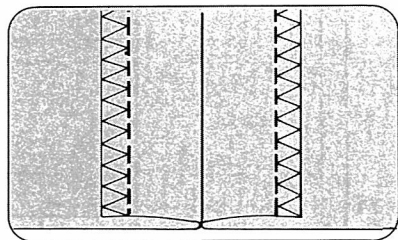
①  の場合は、今縫ったダイヤル表示数字の  のうち WW の範囲に合印を合わせ、左側の縫い目に合うよう調節します。

②  の場合は、今縫ったダイヤル表示数字の  のうち WW の範囲に合印を合わせ、左側の縫い目に合うよう調節します。

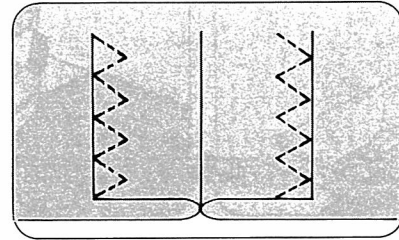
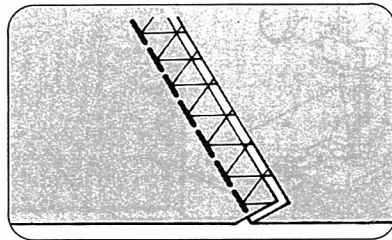
裁ち目かがり



〈ジグザグ縫い〉



〈オーバーロックステッチ〉

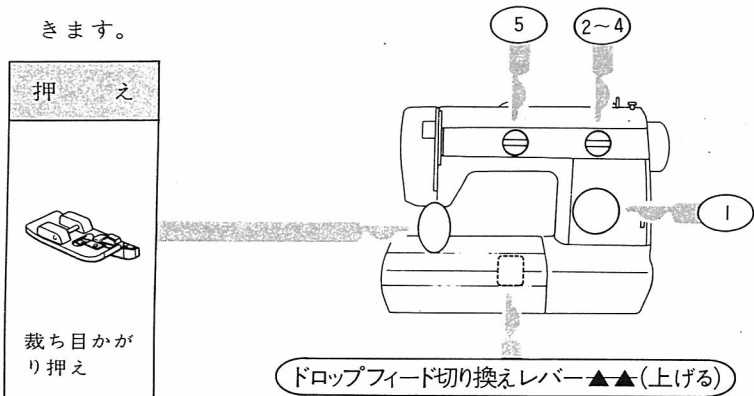


〈点線ジグザグ縫い〉

☆ズボン、スカートなど縫いしろの始末、あらゆる裁ち目の始末に用います。
 ☆オーバーロックステッチで縫えば、縫い代を割らなくてもよいものなら、裁ち目かがりをかねながら地縫いがスピーディにできます。

◆ジグザグ縫いのとき

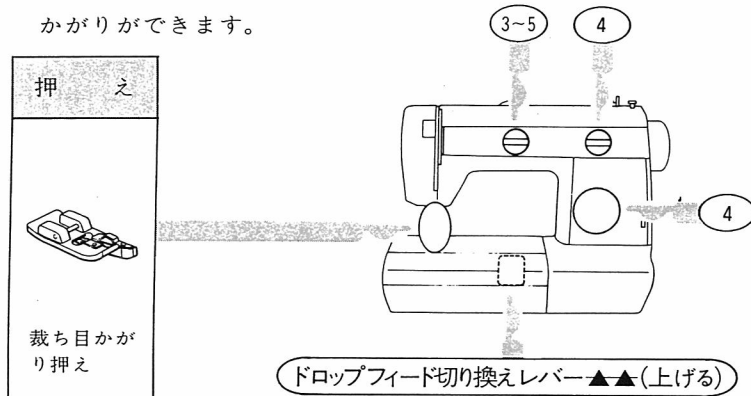
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、ジグザグ縫いで裁ち目かがりができます。



※押えの取り替えは6ページ参照。

◆オーバーロックステッチのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、オーバーロックステッチで裁ち目かがりができます。

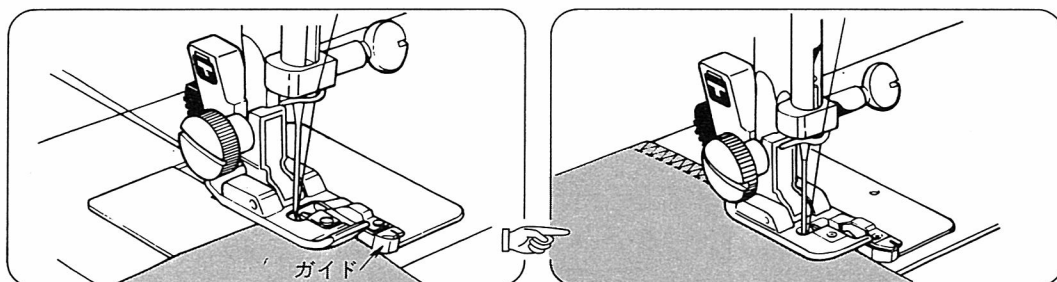


※押えの取り替えは6ページ参照。

裁ち目かがり押えを使用するときの注意

1. 裁ち目かがり押えを使用するときは、止め縫いをしないで下さい。
2. 裁ち目かがり押えを使用するときは、ジグザグダイヤルは絶対に「3」以下で使用しないで下さい。「3」以下で使用しますと、針が裁ち目かがり押えに当り、針の先がつぶれたり、折れたり、曲がったりします。

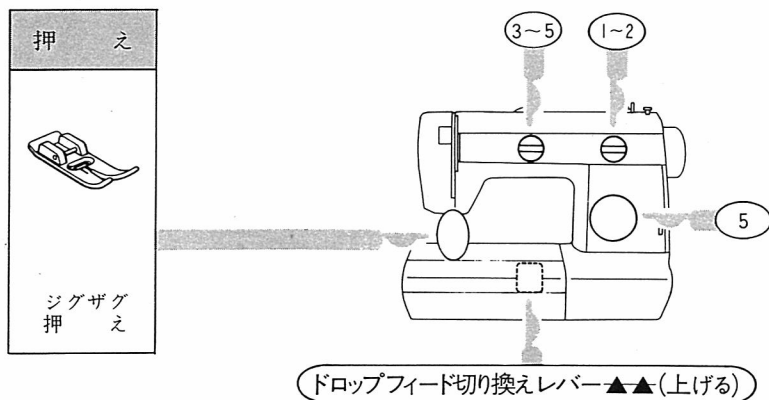
縫い方



☆上糸と下糸は向こう側へそろえておき、裁ち目かかり押えのガイドに布端をぴったりあてて押えをおろし、ガイドにそって縫います。

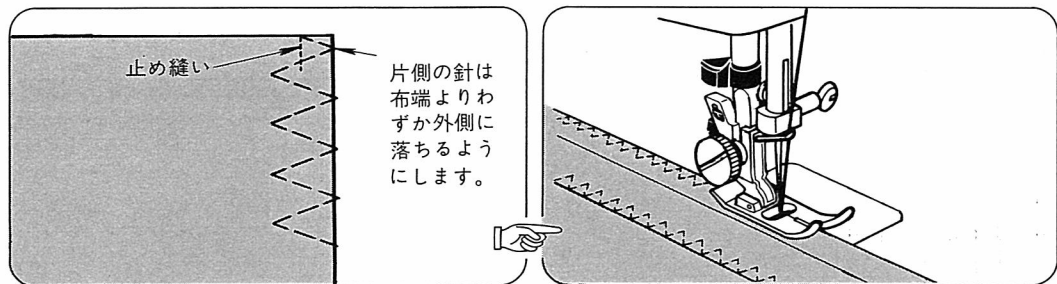
◆点線ジグザグ縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、点線ジグザグ縫いで裁ち目かかりができます。



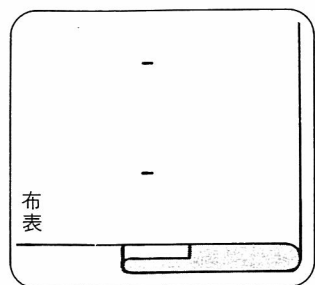
— 裁ち目かかりをするときの注意 —
糸調子は上糸と下糸が布地の端面で交差するように調節します。
また薄い布地の場合は布端を二つ折りにして縫います。

縫い方

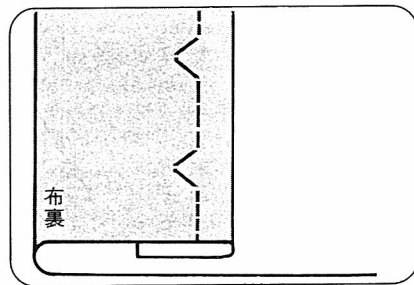


片側の針は布端よりわずかに外側に落ちるようにします。

まつり縫い



〈ブラインドステッチ〉



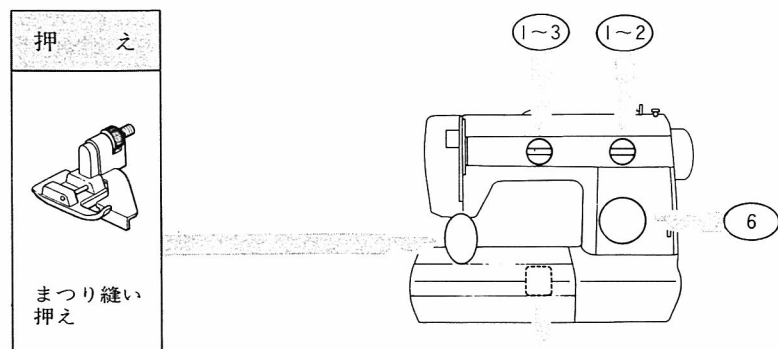
〈ジャーマンブラインドステッチ〉

※布表の縫い目はブラインドステッチと同じです。

☆ワンピース、ブラウス、ズボン、スカートなどのすそ、そで口に用います。

◆ブラインドステッチのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、まつり縫いができます。

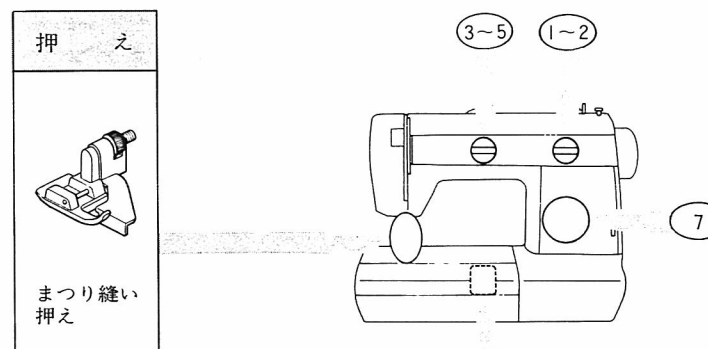


※押えの取り替えは6ページ参照。

ドロップフィード切り換えレバー▲▲▲(上げる)

◆ジャーマンブラインドステッチのとき

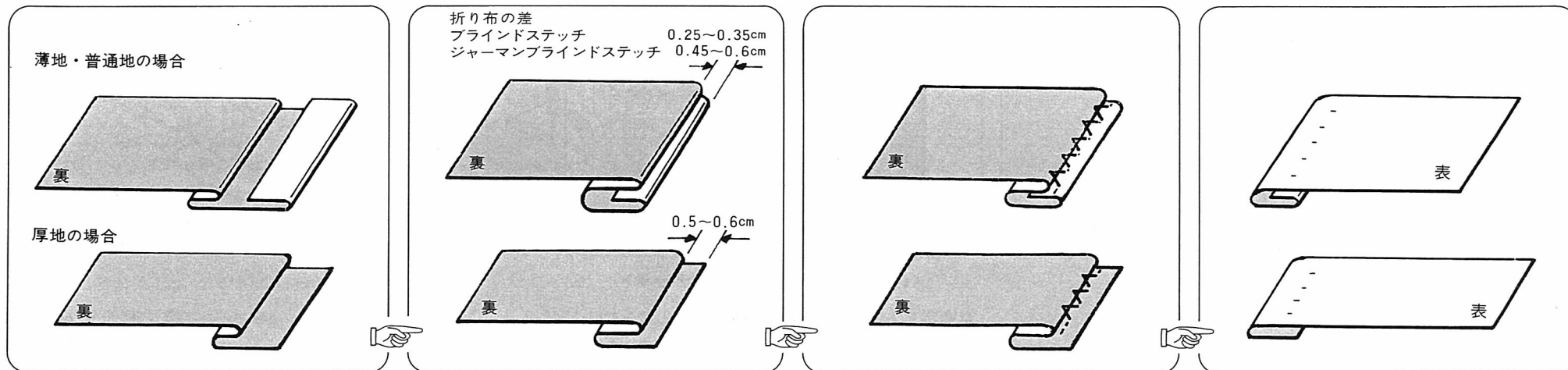
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、まつり縫いができます。



※押えの取り替えは6ページ参照。

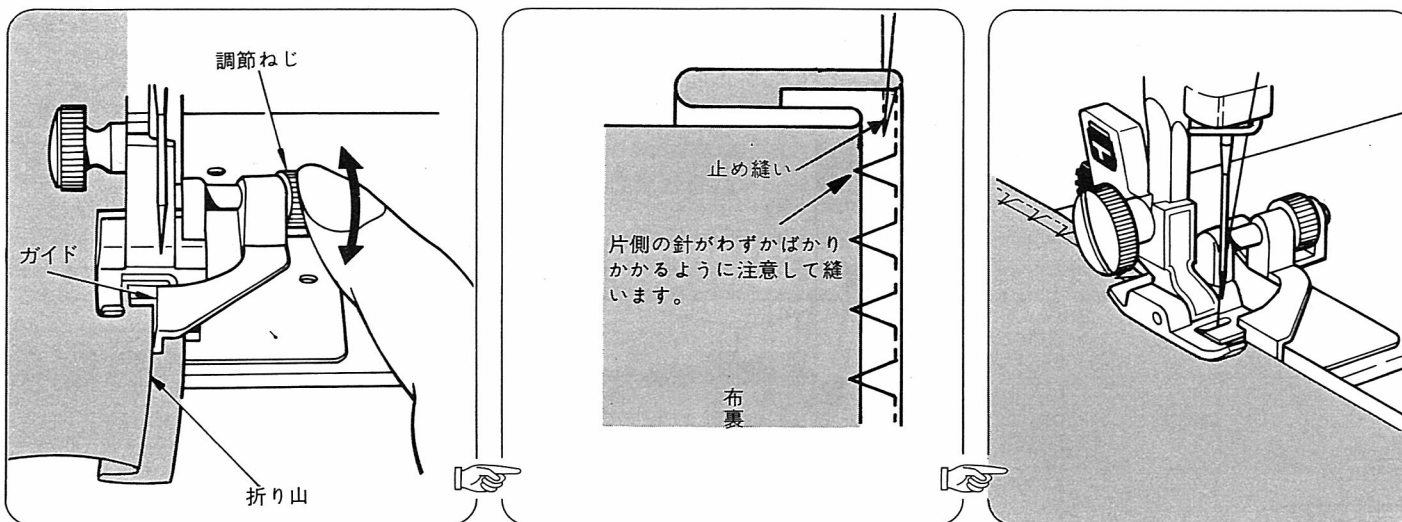
ドロップフィード切り換えレバー▲▲▲(上げる)

布地の折り方



(注意) 厚地の場合は、ジグザグの振り幅を4~5にして縫います。

縫い方

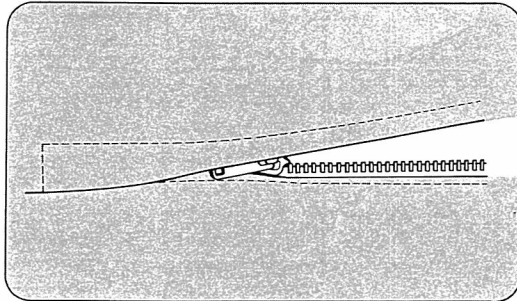


☆折り曲げた布地の折り山を押えのガイドに当て、針先が折り山に必要以上かからないよう、調節ねじで調節して縫います。

——まつり縫いをするときの注意——

1. 上糸の調子をやや強めにします。
2. 左側に落ちる針が必要以上にかかりすぎると布が開かず、表側に出る縫い目が大きくなり、きれいに仕上がりません。
3. ジグザグの振り幅は、折り布の差以内にセットして下さい。

ファスナー付け

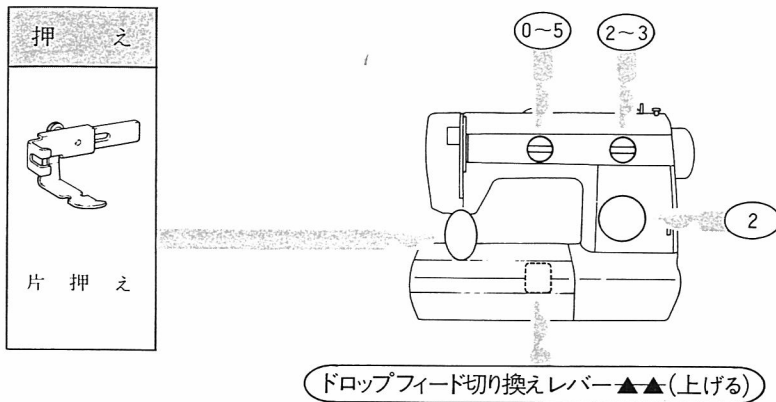


☆スカートや、ワンピースの脇あき、財布、袋物などに用います。

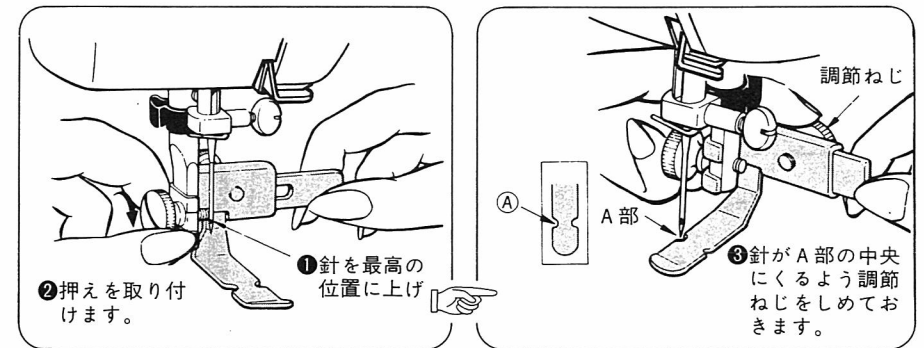
〈普通ファスナー付け(片合わせ)〉

◆普通ファスナー付けのとき

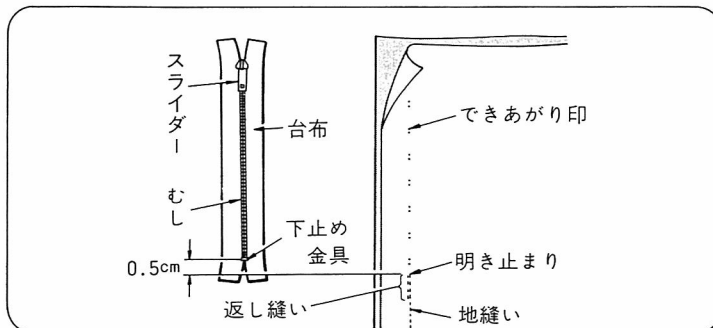
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとファスナー付けができます。



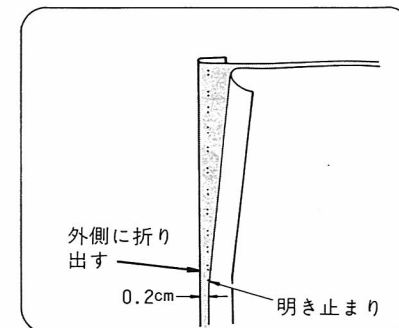
押えの取り付け方



縫い始める前に



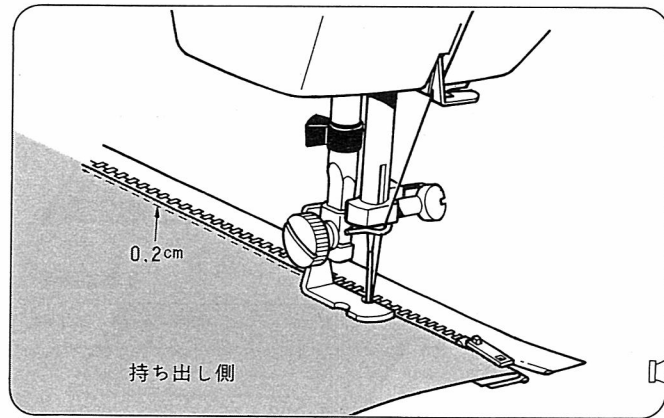
- ① 布地を中表に合わせ、ファスナー付け部分にファスナーを当て、下止め金具より0.5cm下った位置に明き止まりの印を付けます。
- ② 明き止まりより下を2枚合わせのまま縫います。このとき縫い始めと縫い終りは、返し縫いで縫い止めます。
- ③ 縫い合わせた部分の縫い代を割ります。



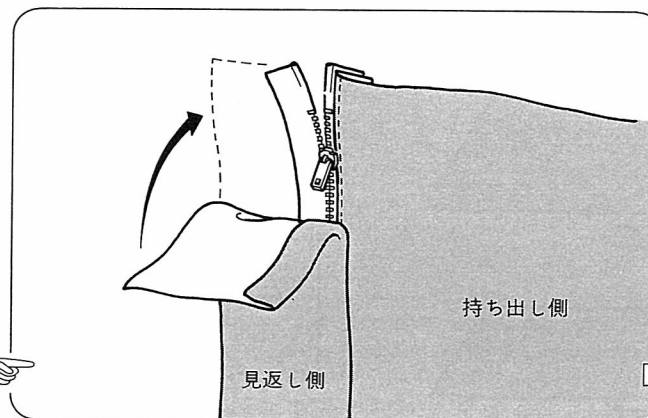
- ④ 下側の布地を印より0.2cm外側に折り出し、明き止まりの下は先に割った縫い目に向かって自然に消しておきます。

縫い方

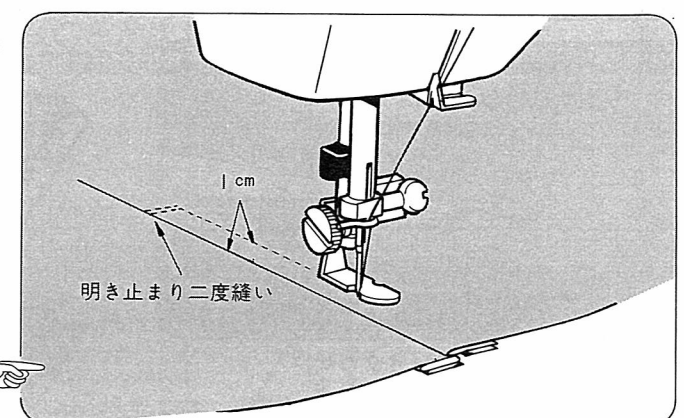
《片合わせ状に付ける方法》



⑤ 布地の下にファスナーをおき、ファスナーに沿って布端より0.2 cmの所にステッチをかけます。



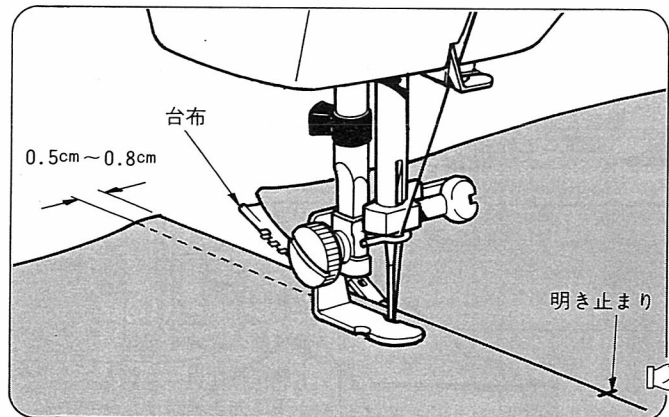
⑥ 折り山をできあがり印に合わせます。



⑦ 明き止まりのところでファスナー明きに対して、直角に二度同じところを縫います。

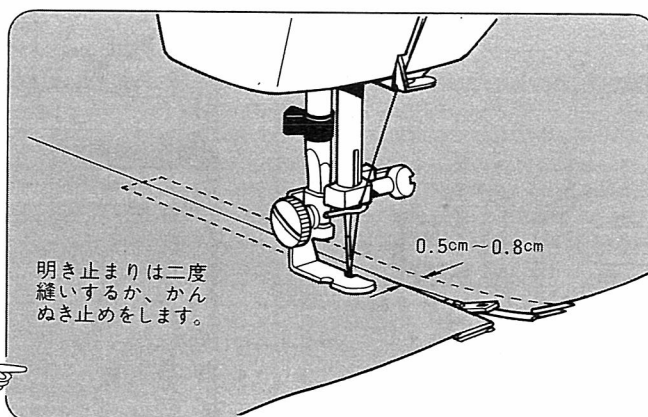
⑧ ファスナーを付ける上側の布地の折り山から1 cm程度入ったところに、ミシンをかけます。

《突き合わせ状に付けるとき》



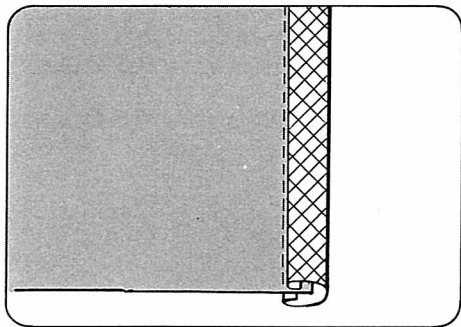
① 明き止まりまで地縫いをして、縫い代を割ります。ファスナーのむしの中心と布端を突き合わせ状に合わせます。このときファスナーのむしが見えないようにします。

② 折り山から0.5cm~0.8cmはなして明き止まりに向かって縫います。



明き止まりは二度縫いするか、かんぬき止めをします。

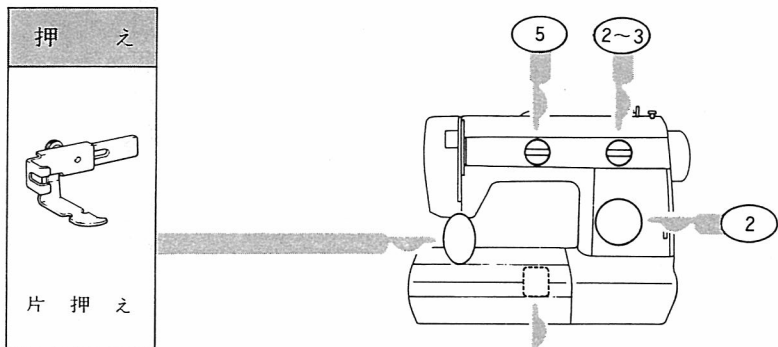
おとしミシン



☆パイピング、玉縁ポケット、玉縁ボタン穴
かがりなどに用います。

※片押えの取り付け方、調節のしかたは30ペ
ージをごらん下さい。

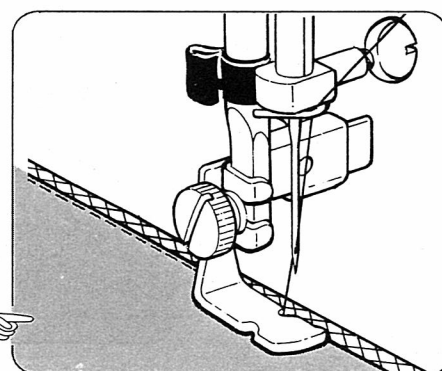
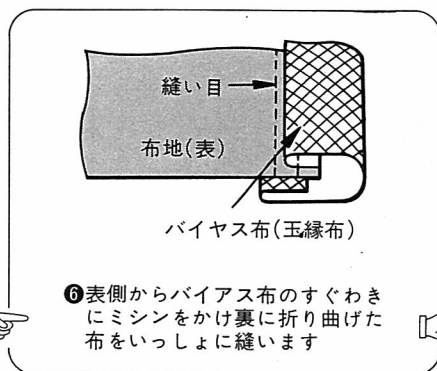
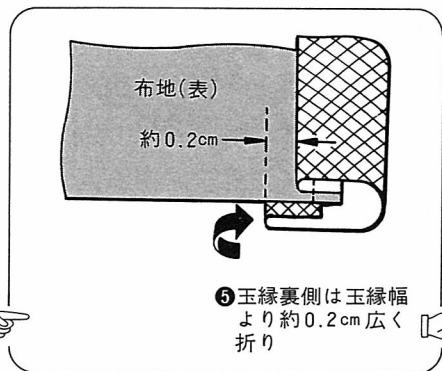
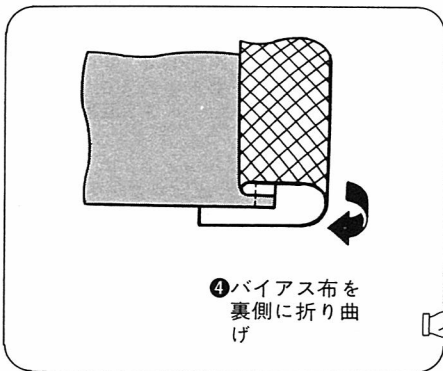
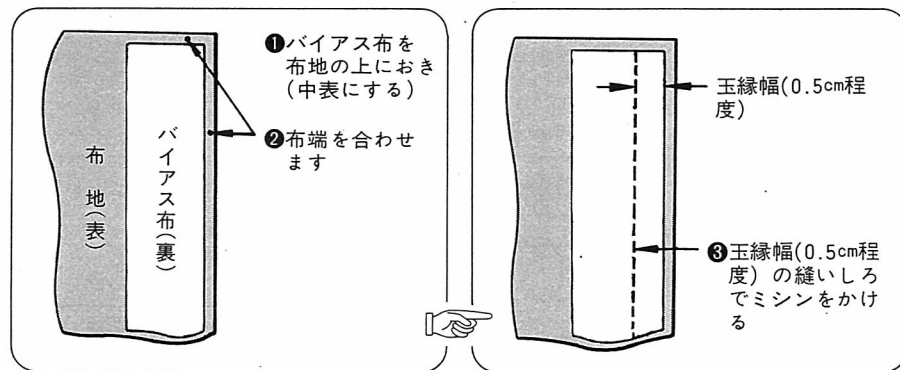
☆ミシンを次のようにセットして縫いますと落としミシンができます。



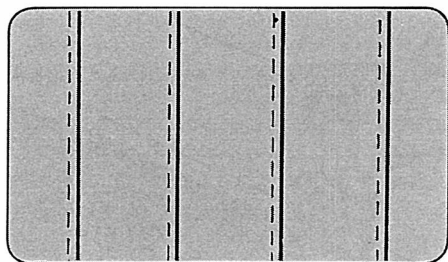
※押えの取り替えは
30ページ参照。

ドロップフィード切り換えレバー▲▲(上げる)

縫い方

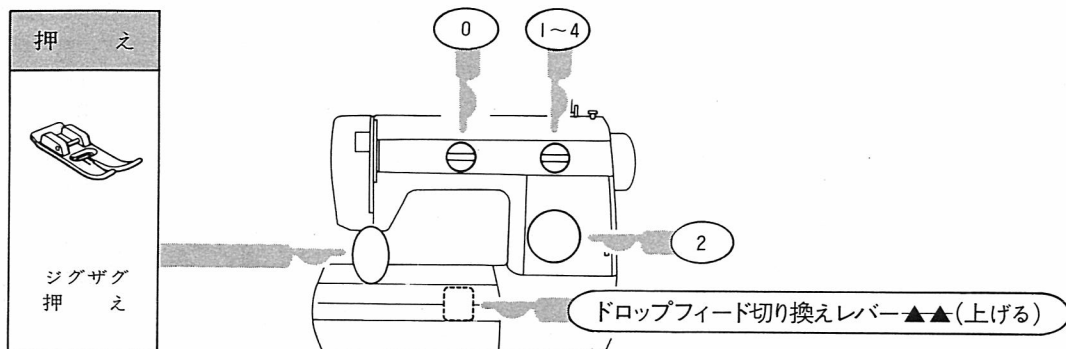


ピントック

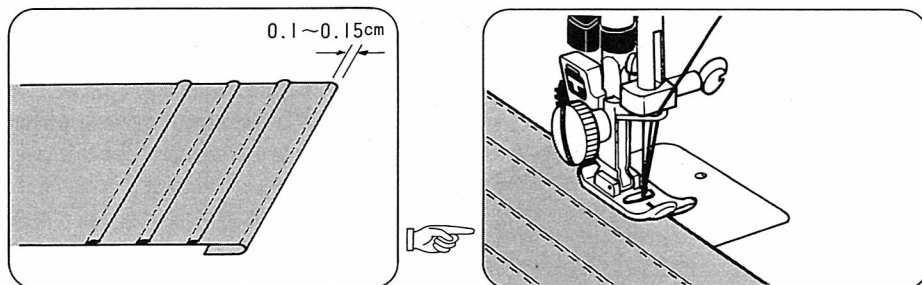


☆ごく細くつまんでミシンをかけたものをピントックといえます。ブラウス、ワンピースのヨークやそで、エプロンの胸やポケットの飾り、そのほかいろいろな手芸品に応用されるなど、装飾と実用を兼ねた縫い方です。

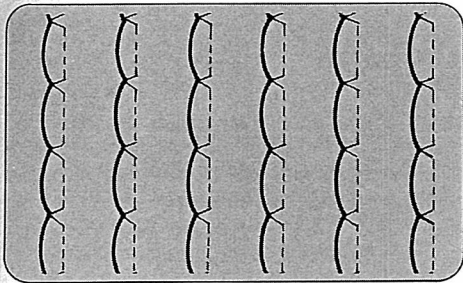
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとピントックができます。



縫い方

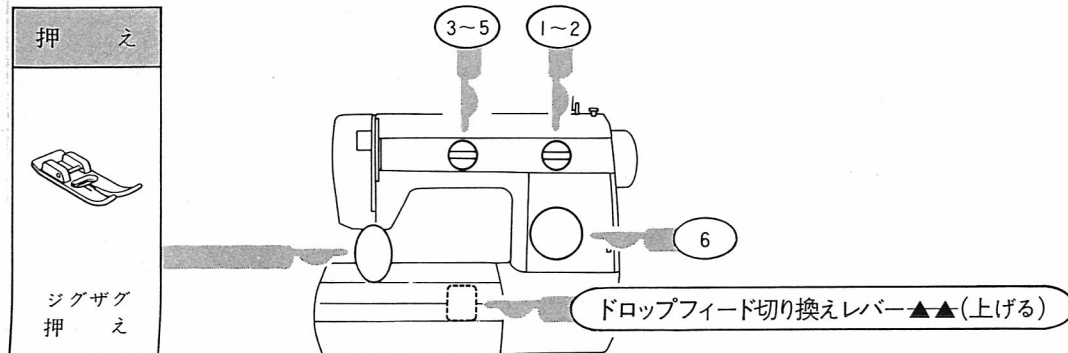


シェルタック

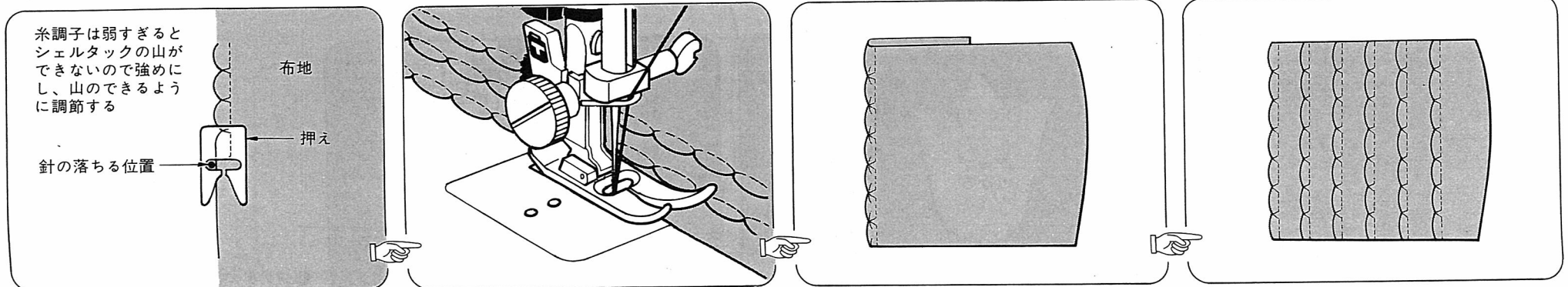


☆シェルタックは、ブラインドステッチを利用して、
 貝がらを一直線に並べたような円弧状のひだを作る
 もので、縁取りなども用いるほか、ピントックと同
 じように、ブラウス、ワンピースの胸もとやそでな
 どに利用されます。

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとシェルタックができます。

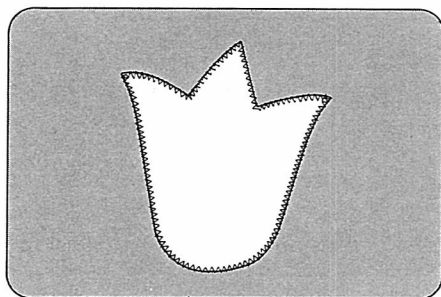


縫い方



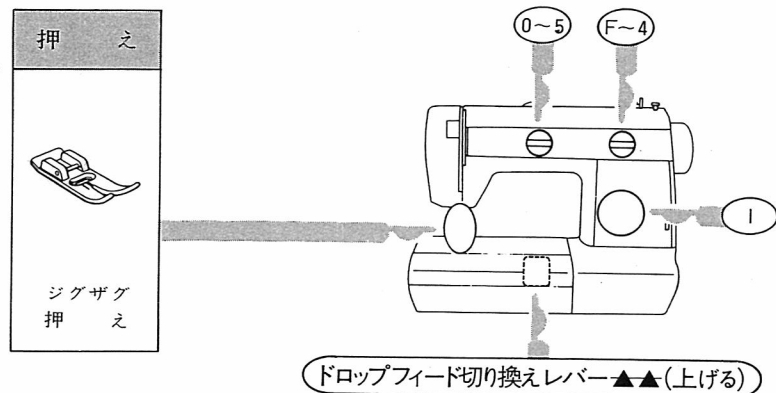
※布地はバイアスに折ります。

アップリケ



☆エプロン、子供服などにあしらいます。

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとアップリケができます。



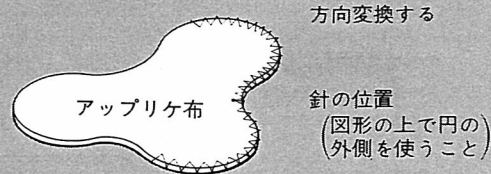
アップリケをするときの注意

☆縫い方はサテステッチ、ジグザグ縫いなどがありますが、縫い目長さ、ジグザグ幅はアップリケ図案の形、大きさ、材質などに応じて調節して縫います。

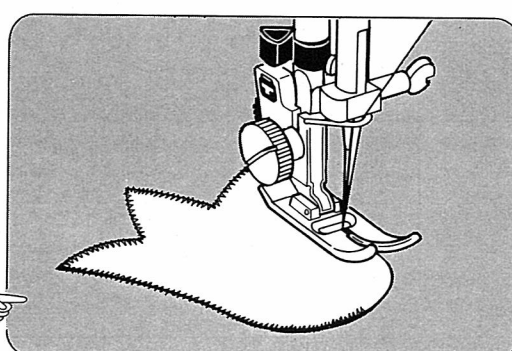
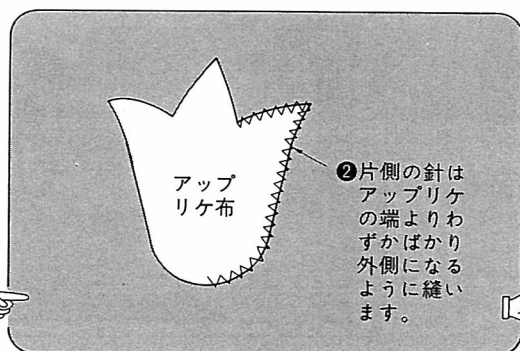
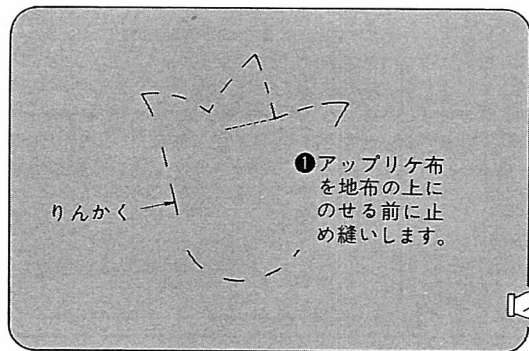
☆アップリケ布の種類によってはほつれない布の場合は、そのままジグザグ縫いでアップリケしますが、ほつれやすい布の場合は、まず、和紙にむらのないようにうす糊をつけ、布をはり、なま乾きのうち表から当て布をしてアイロンで乾かし、図案に応じて切り取り、サテステッチで縫います。

☆大きな図案の場合は、しつけ縫いをしておきますと便利です。

☆丸味のある図案では円の外側に針を刺したまま押えを上げて少しずつ方向を変えながら縫った方が縫い目がきれいにできます。



縫い方

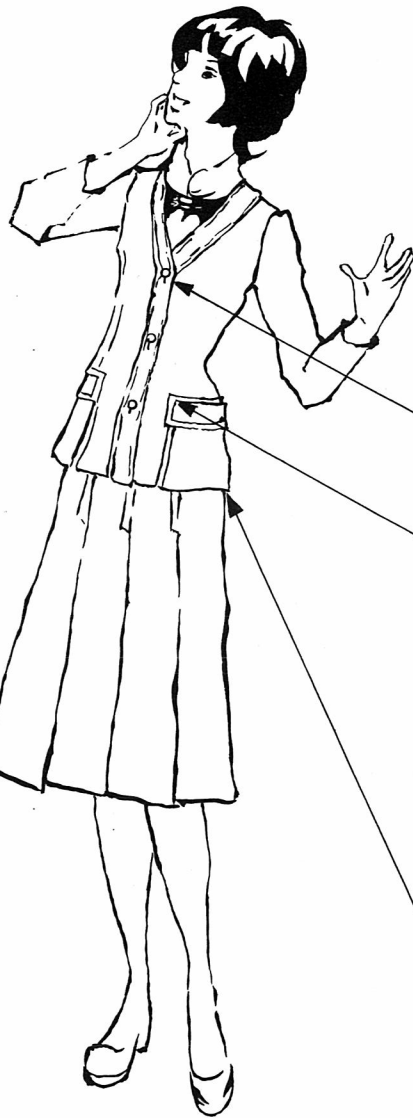


❖ 楽しい実用作品 ❖

❖ あなたの装いはブラザーホームソーイングパターンで……

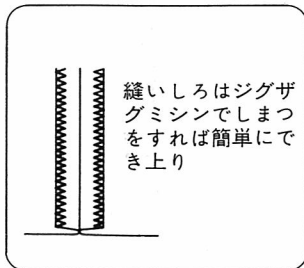
ブラザーホームソーイングパターンを使って図のような作品を作ってみました。ジグザグミシン1台でこんなにいろいろな縫い方ができて本当に便利です。

さあ、ジグザグミシンを使っていろいろな楽しい作品を作ってみましょう。

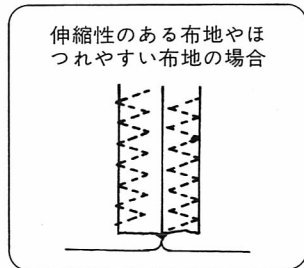


❖ 裁ち目かがり

縫いしろはジグザグミシンでしまつをすれば簡単にでき上ります……



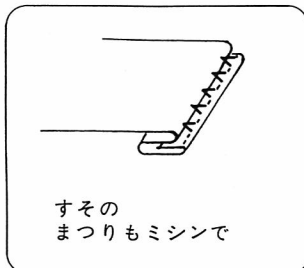
<ジグザグ縫い>



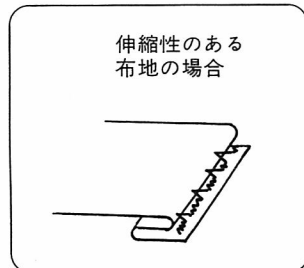
<点線ジグザグ縫い>

❖ まつり縫い

すそのまつりもミシンで……



<ブラインドステッチ>



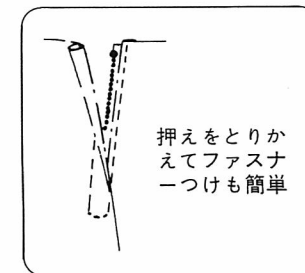
<ジャーマンブラインドステッチ>

❖ ボタン穴かがり

❖ かんぬきどめ

❖ ファスナー付け

押えをとりかえてファスナーつけも簡単……



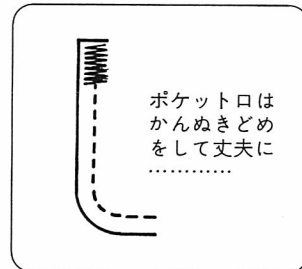
<普通ファスナー>



✦ファスナー付け

✦かんぬきどめ

ポケット口はかんぬきどめをして丈夫に……



ポケット口は
かんぬきどめ
をして丈夫に
……

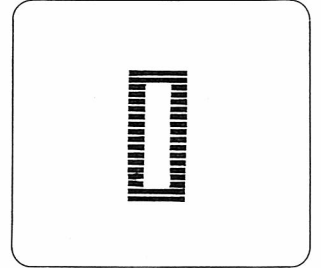
<サテステッチ>

✦裁ち目かがり

✦まつり縫い



✦ボタン穴かがり



✦裁ち目かがり

✦まつり縫い

✿ ミシンの手入れと注油 ✿

掃除と手入れ

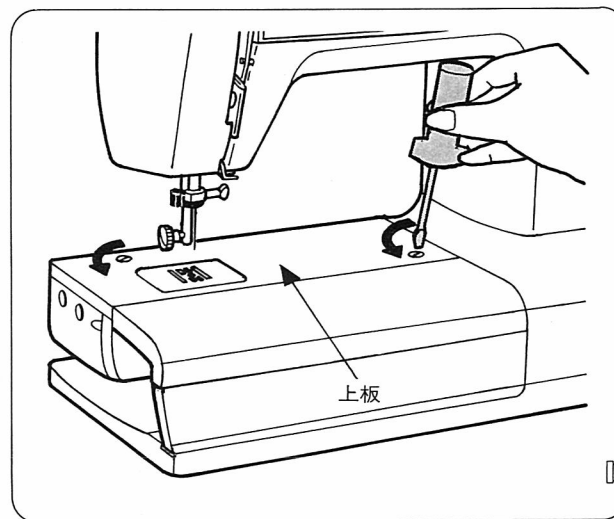
☆かるいよごれは、やわらかい湿った布でふいて下さい。また、ひどいよごれは中性洗剤に浸した布できれいにふきとって下さい。



- (注意) 1. ストーブやアイロンなどは近付けないようにして下さい。
2. 掃除は最初中性洗剤を溶かした湯または水を浸した布でふき、次に湯または水を浸した布で洗剤をじゅうぶんふき取って下さい。
(ご注意)シンナー・ベンジンなど揮発性のものは絶対に使用しないで下さい。塗装面がはげたり、プラスチック部が変質します。
3. 保管するときは、できるだけ直射日光をさけて下さい。塗装面およびプラスチック部が変色します。

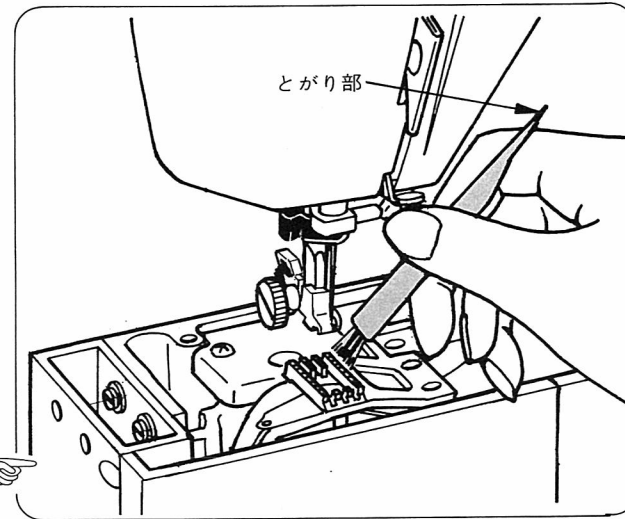
送り歯の掃除

☆針板と送り歯の間は糸くずやほこりがたまりやすく、いろいろな故障の原因になる場合がありますので、つねに清潔にしておきましょう。



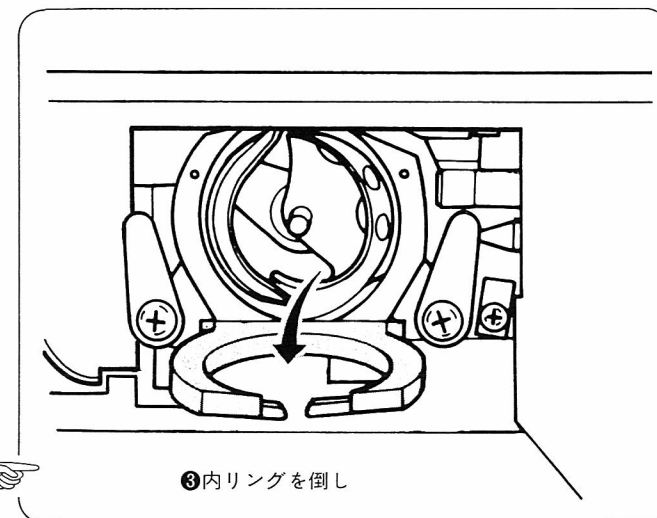
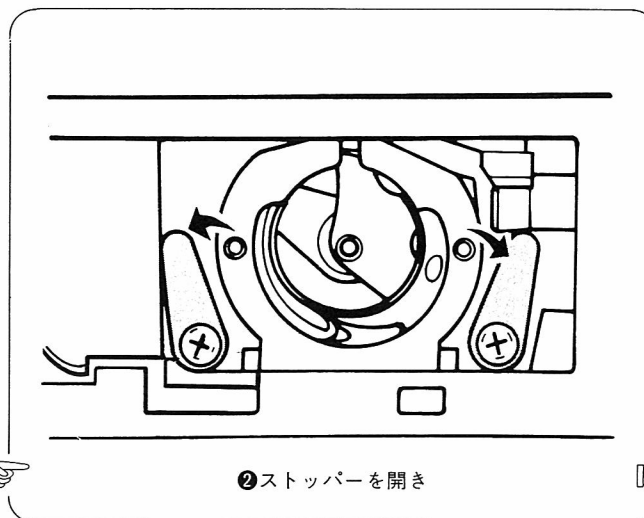
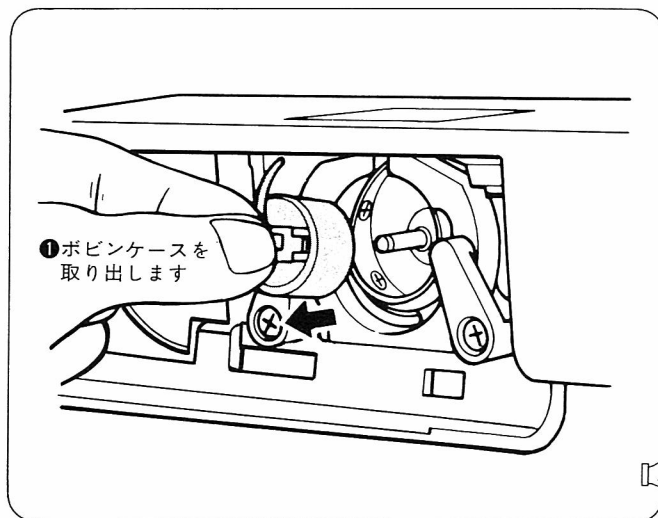
☆押えを外し、図のように2本の締めねじをゆるめて上板を外します。

※上板は、補助テーブルを持ち上げ、手前に引き下げたから外して下さい。(1ページ参照)

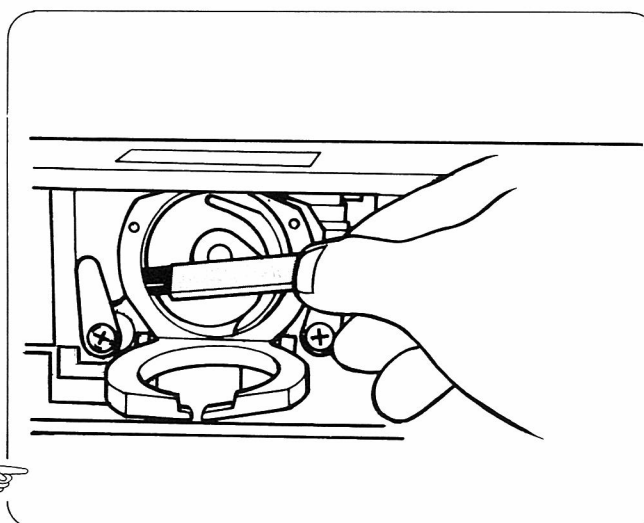
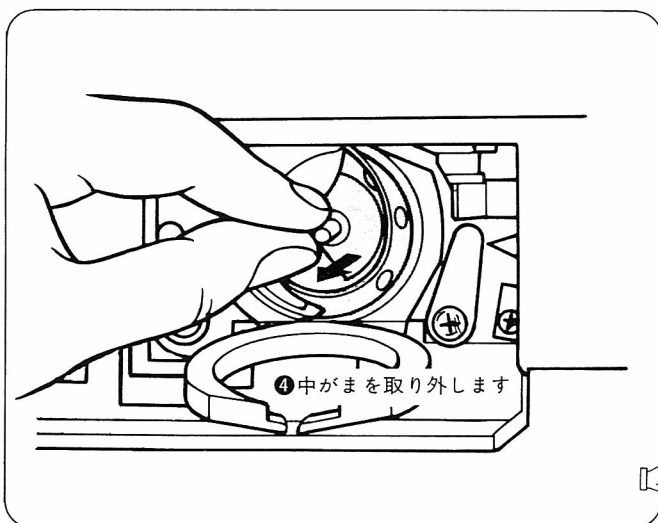


☆糸くずやほこりが油で固まって取れない場合はミシンブラシのとがり部で取って下さい。

かまの分解手入れ



※補助テーブルの開き方は1ページをごらん下さい。



☆ブラシでほこりや糸くずなどを取り、ミシン油を少し含ませた油布できれいに拭きます。
☆中がまも同じようにお手入れ下さい。
☆掃除が終わったら、取り外し方と反対の順序で取り付けます。

注 油

☆動く部分にいつも油があればミシンは軽く、静かに運転でき、寿命も大変長持ちします。

☆毎日1時間位ご使用の場合は、一週間に1度位、毎日数時間ご使用の場合には毎日1回、矢印の個所に付属のミシン油を数滴ずつ注油して下さい。

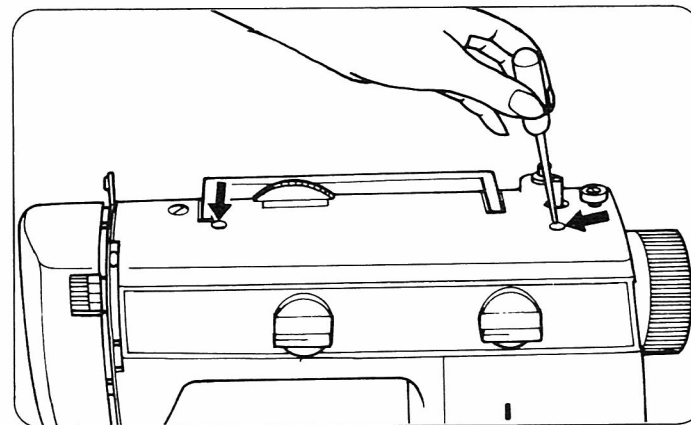
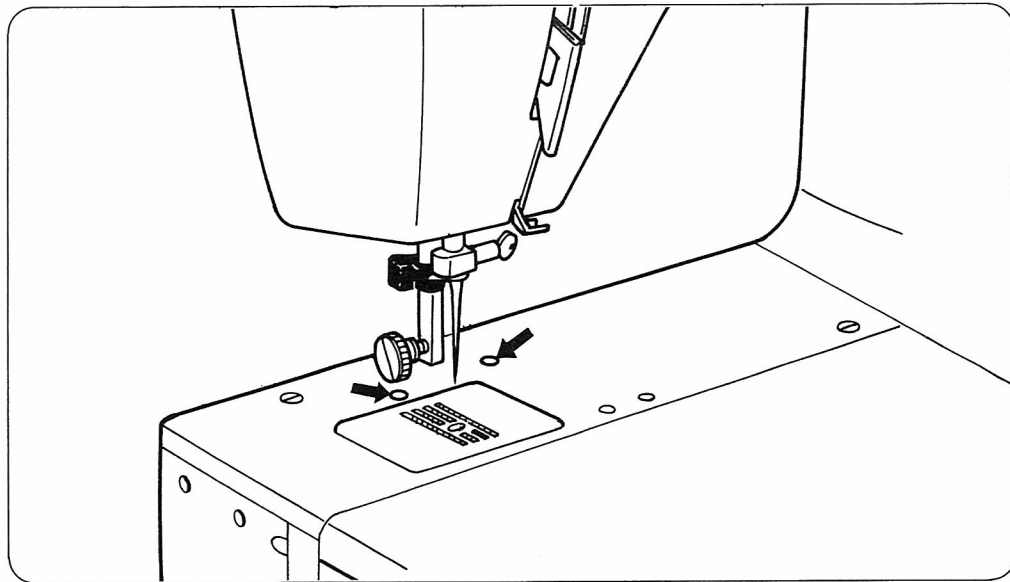
☆注油穴付近に付着した油は、布できれいにふきとって下さい。

長期間使用しなかった場合

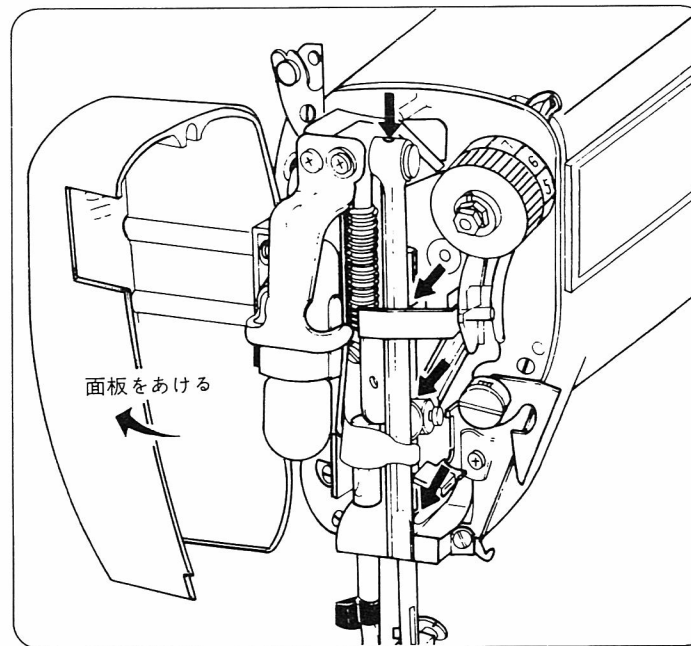
☆油が固まって、回転が重くなる場合がありますので、

- ①ベンジンを少量注油個所に差し、
- ②ミシンに糸をかけずに押えを上げ、高速で運転し、古い油を取り去ってから、
- ③ミシン油を注油個所(摺動部分)全部に差します。
- ④次に余分な油をふきとってからご使用下さい。

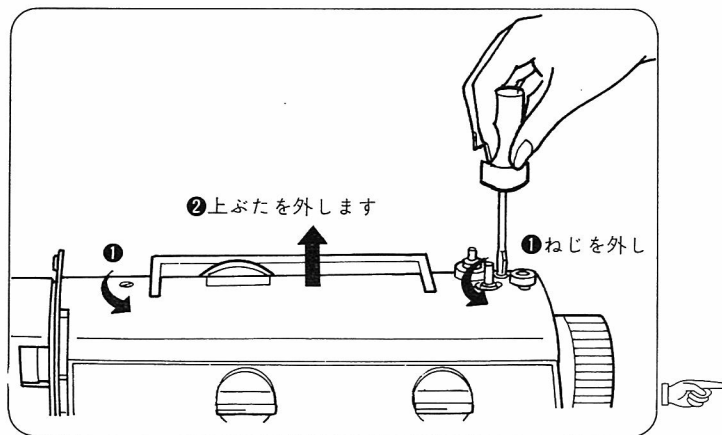
☆上板の注油部分



※上図の個所はミシンのプーリーを回しながら注油して下さい。

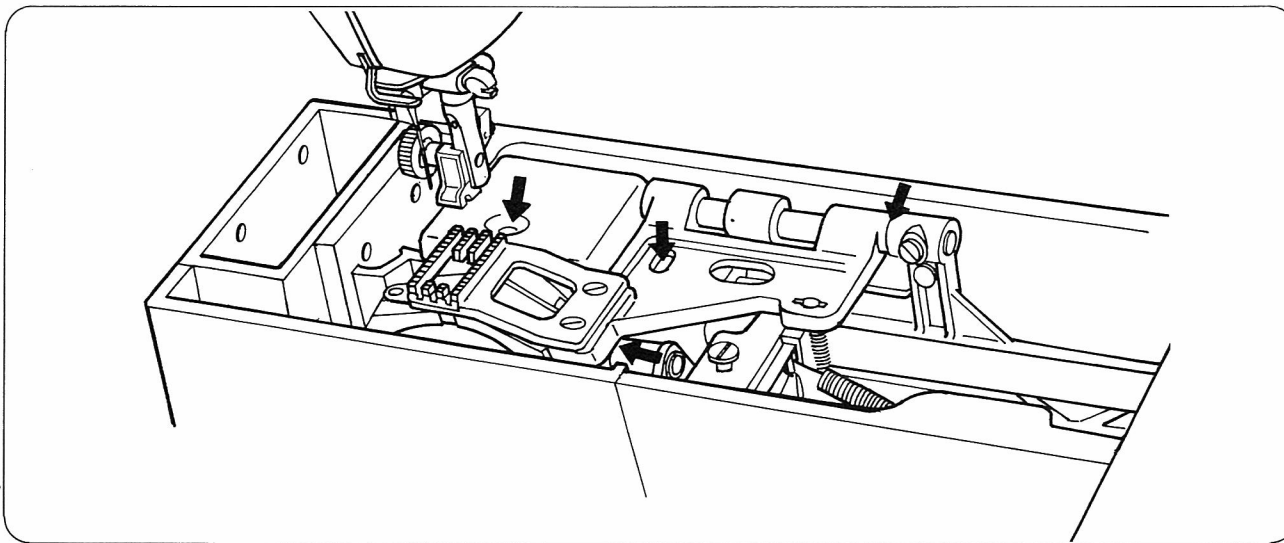
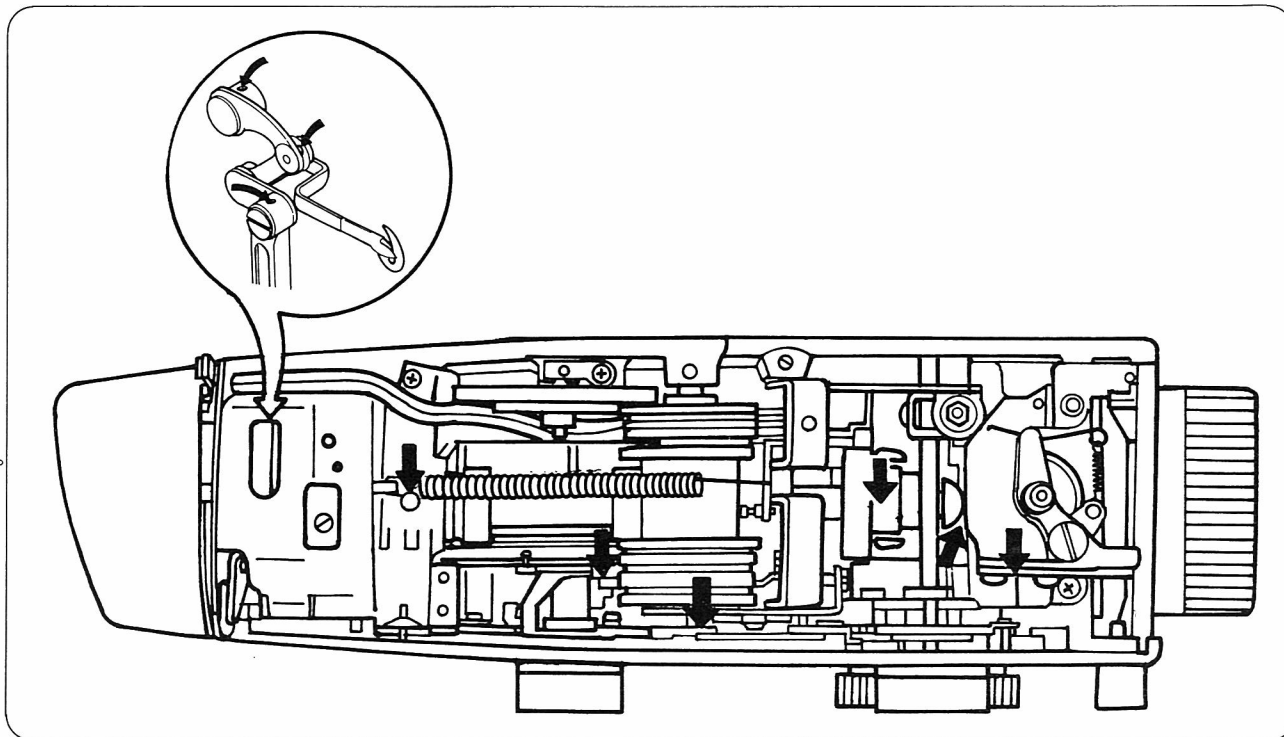
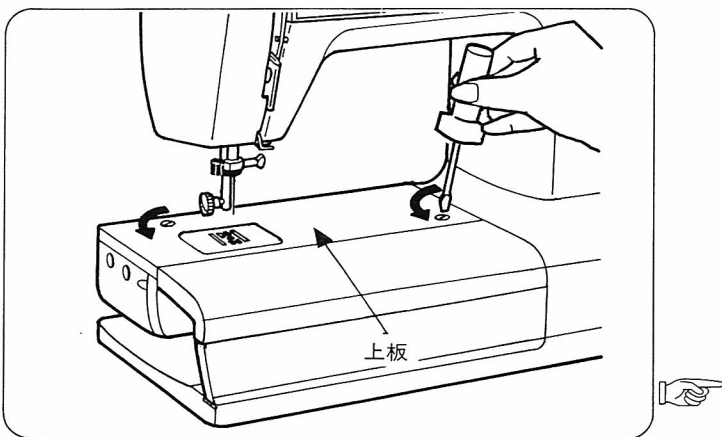


☆ときどき上ふたを取りはずし右図の個所にも注油して下さい。上ふたの取りはずし方は下図の通りです。




☆ときどき上板を取り外し下図の個所にも注油して下さい。上板は、押えを外し、図のように2本のねじをゆるめて外します。

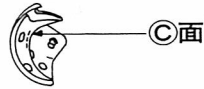
※上板は、補助テーブルを持ち上げ、手前に引き下げてから外して下さい。(1ページ参照)



✿ 簡単な調整手入れ ✿

☆ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。ミシンの場合、ちょっとした使用上の誤りから起る原因が多いものです。一度その原因を確かめ、処置をしてみましょう。もし、それでもなおらない場合は、最寄りのブラザー販売店にお申し付け下さい。

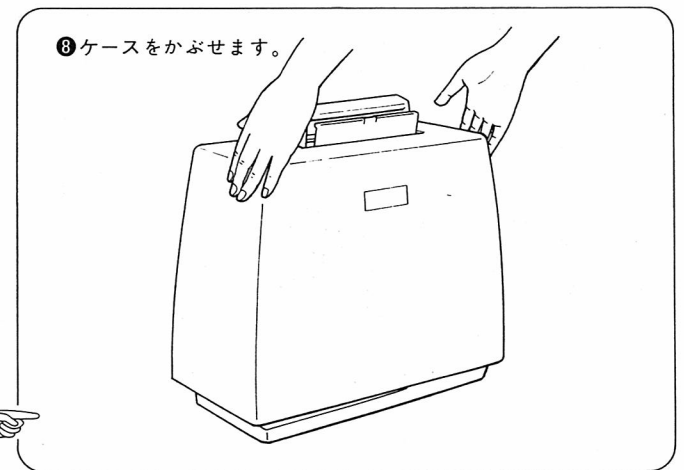
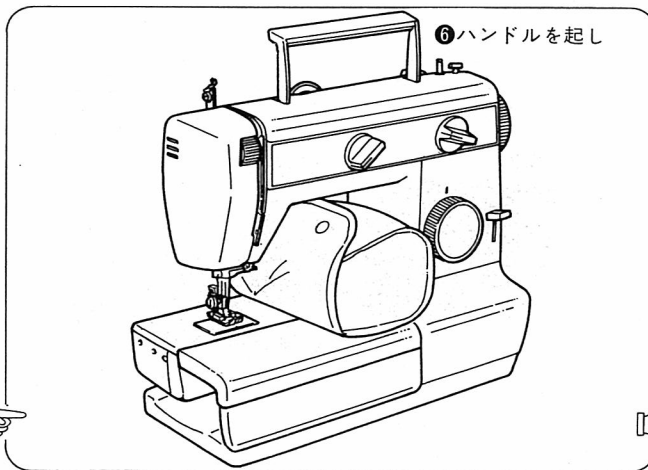
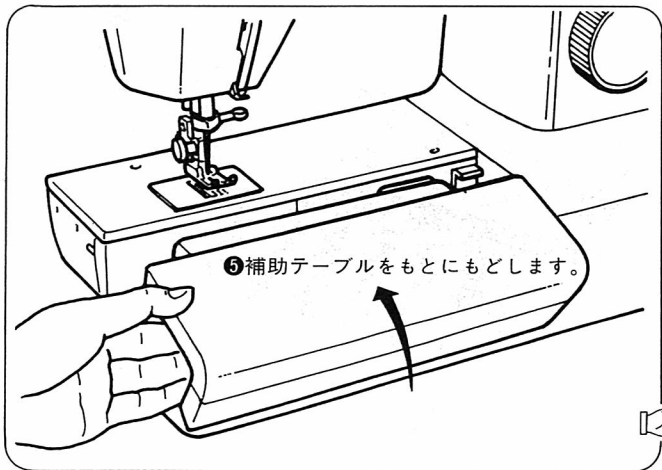
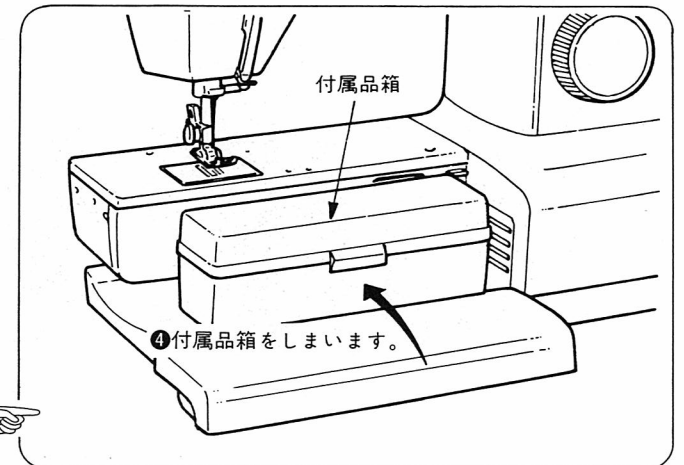
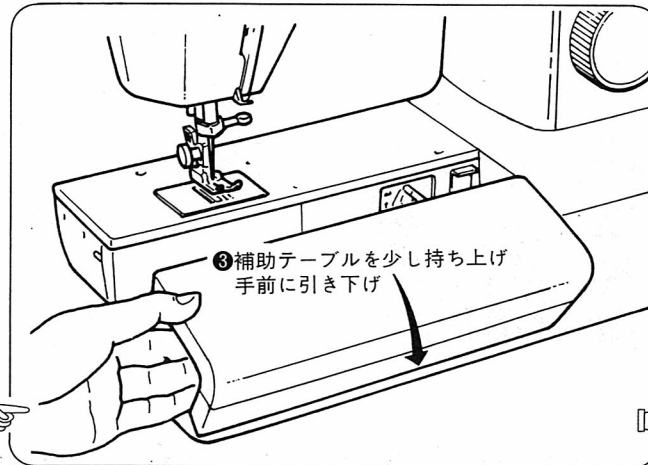
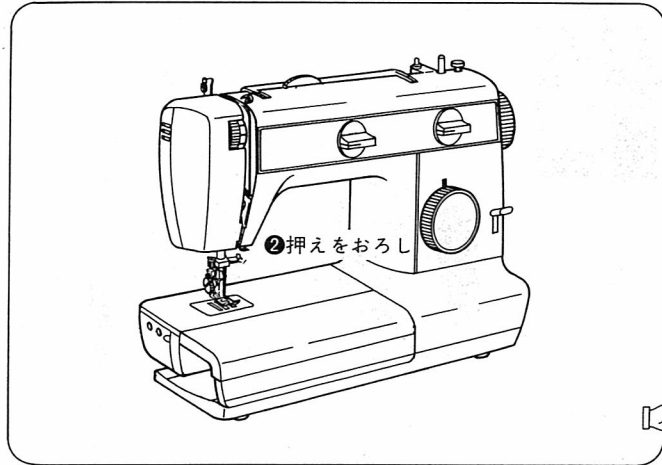
調子よく縫えない状態	原 因	処 置 の し か た
1. 布地を送らないのは	(1)送り歯が下がっている場合	ドロップフィード切り換えレバーを▲▲に合わせます。
	(2)ぬい目の長さ調節ダイヤルが「0」になっている場合	直線縫いの場合………1～4 } ジグザグ縫いの場合…F～4 } に合わせます。
	(3)針板が正しい位置に取りつけられていない場合	正しく取り付けます。 5 ページ「針板」をごらん下さい。
	(4)押え調節レバーが「0」になっている場合	押え調節レバーを「1」、「2」または「3」に合わせます。
2. 針が折れるのは	(1)針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。 4 ページ「針」をごらん下さい。
	(2)針の取り付けが悪い場合	正しく取り付けます。 4 ページ「針」をごらん下さい。
	(3)布地を無理に引っ張った場合	縫いながら布を強く押えたり引っ張ってはいけません。 手は布地が曲がらないようにそえるだけにします。
	(4)布地・糸・針の関係が悪い場合	布地に対して適正な針と糸を選んで下さい。 その関係は13ページ「布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方」をごらん下さい。
3. 上糸が切れるのは	(1)糸の通し方が間違っている場合	正しく通し直します。 9 ページ「上糸の掛け方」をごらん下さい。
	(2)糸が必要以外のところからみあっている場合	糸立て棒、糸案内などに糸がからまっていないかをたしかめます。
	(3)糸調子が強すぎる場合	19ページ「直線縫いの糸調子」をごらん下さい。 ジグザグ縫いは20ページ。
	(4)針の取り付けが悪い場合	4 ページ「針」をごらん下さい。
	(5)悪い針を使用した場合	針はブラザー家庭用ミシン針HA×1をご使用下さい。
	(6)針穴より太い糸を使用した場合	13ページ「布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方」をごらん下さい。 布地・糸・針の関係をよく確認し、つよすぎないように正しい糸調子に調節します。
	(7)中がまにきずができた場合	39ページ「かまの分解手入れ」により、中がまをはずし糸滑り面①・②にきずのある場合は、中がまを新品と取り替えます。 

調子よく縫えない状態	原因	処置のしかた
4. 下糸が切れるのは	(1)ボビンケースの糸の通し方が間違っている場合	正しく通します。12ページ「ボビンケースへの糸の通し方」をごらん下さい。
	(2)ボビンケースの調子ばねを強く締め過ぎた場合	調子ばね締めねじをゆるめて、調子を合わせます。 この場合、上糸の調子もゆるめないと糸調子不良となりますから注意して下さい。
	(3)中がまにきずができた場合	糸ずれ面◎にきずがある場合は中がまをとり替えます。 
5. 目飛びがするのは	(1)針が曲っていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。 4ページ「針」をごらん下さい。
	(2)針の取り付けが不完全な場合	正しく取り付けます。 4ページ「針」をごらん下さい。
	(3)粗悪な針を使用した場合	ブラザー家庭用ミシン針HA×1をご使用下さい。
	(4)糸くずが針板の下部に付着している場合	上板をはずして掃除をします。 38ページ「送り歯の掃除」をごらん下さい。
	(5)布地・糸・針の関係が悪い場合	正しい組み合わせにします。 13ページ「布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方」をごらん下さい。
	(6)糸の通し方が間違っている場合	正しく通します。 9ページ「上糸の掛け方」をごらん下さい。
6. 縫い目に輪ができるのは	(1)上糸・下糸の調子が完全でない場合	正しい糸調子にします。 19ページ「直線縫いの糸調子」をごらん下さい。 ジグザグ縫いは20ページ。
7. 縫い物にしわがよるのは	(1)糸調子が強過ぎる場合	うすものを縫うときは、上糸・下糸共にできるだけ調子をゆるめます。 19ページ「直線縫いの糸調子」をごらん下さい。ジグザグ縫いは20ページ。 13ページ「布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方」をごらん下さい。
	(2)糸の通し方が間違っていたり余分な個所に糸が引っ掛っている場合	正しく通します。 9ページ「上糸の掛け方」をごらん下さい。
	(3)押え調節レバーが「3」になっている場合	押え調節レバーを「1」又は「2」に合わせます。
8. 回転が重い・音が高いのは	(1)油がきれいている場合	動く部分に注油します。 40ページ「注油」をごらん下さい。
	(2)ミシン油でない油を使用した場合（食用油、頭髪油など）	ブラザーミシン油をご使用下さい。
	(3)かまに糸くずが巻き込まれている場合	かまの分解掃除をします。39ページ「かまの分解手入れ」をごらん下さい。
	(4)送り歯にごみがたまっている場合	上板をはずしブラシで掃除します。 38ページ「送り歯の掃除」をごらん下さい。

✿ ミシンのしまい方 ✿

✦ ミシンをケースにしまうには、次の手順で行います。

① 糸こまを糸立棒から外し、糸立棒を押し込み



⑦ コントローラーのコードを外してコントローラーケースに入れ、ベッドの上に乗せます。

(注意) 押えを下げてから、ケースをかぶせて下さい。

あなたのホームソーイングをより楽しくする……



ブラザーミシン用出版物・用具



ブラザーホームソーイングパターン



あなたのドレスづくりにブラザーパターンを使ってホームソーイングをお楽しみ下さい。

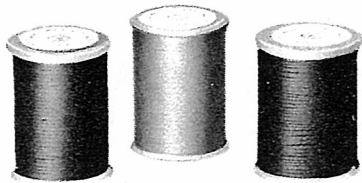
やさしいパターン洋裁



パターン洋裁の一般的な知識や縫い方の基本、ドレス作りの全行程を図解入りでわかりやすく説明しています。

絹ミシン刺しゅう糸

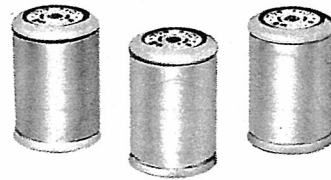
ミシン刺しゅうにはかかせない美しい色調とつよさをもった正絹ミシン刺しゅう糸です。



(堅牢染80番 130m巻80色)

ミシン用ナイロン透明糸

編地・ジャージーなどの縫製に伸びる糸透明糸をお使い下さい。



(60番 500m巻 白)

ミシン刺しゅう糸

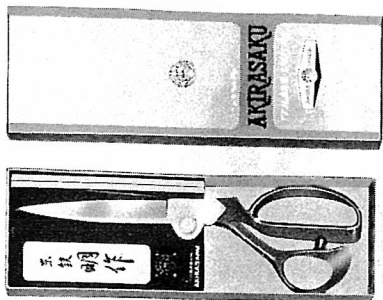
豪華なものには正絹糸をご利用下さい



(堅牢染80番 130m巻 12色セット)

❁ 高級裁ちばさみ

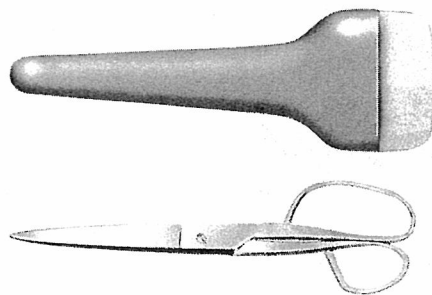
洋裁・和裁に最適な高級裁ちばさみです。種類も豊富です。



(サイズ200mm、210mm、240mm、260mm)

❁ 紙切りばさみ

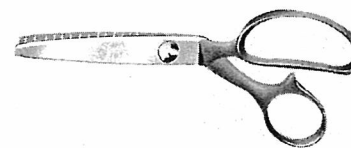
型紙を切るのに便利な紙切りばさみです。



(サイズ・180mm)

❁ ピンキングばさみ

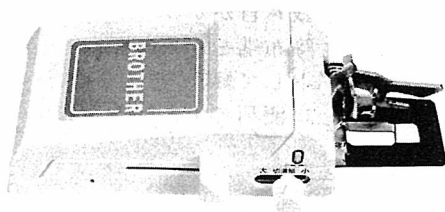
布地のへりを刻み目に切る便利なピンキングばさみです。



(サイズ・9インチ)

❁ 家庭用ジグザグミシン専用ボタン穴かがり器

19種類のボタン穴が簡単にぬえます。



ネムリ穴



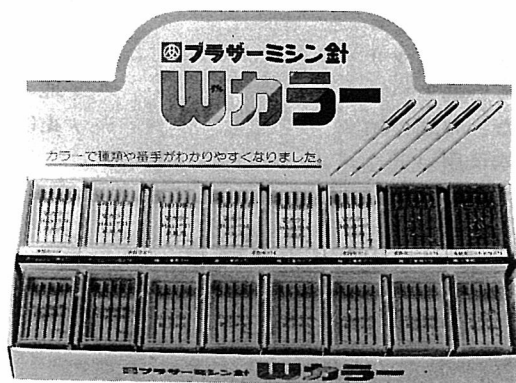
(8.3~32.3mm)

ハトメ穴



(14~35.3mm)

❁ カラー針

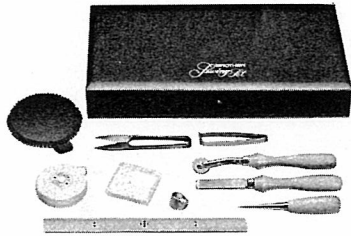


その他、ボビン、チャコペーパー、チャコベル、刺しゅう用半月ばさみなどいろいろあります。

【お近くの取り扱い店でお求めください】

✿ソーイングセット

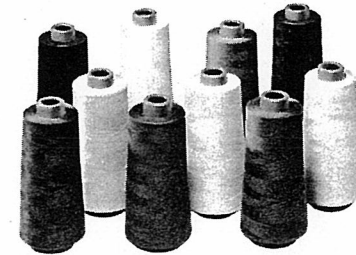
ホームソーイングに必要な洋裁道具を携帯用ケースにセットしました。



✿しつけ糸



✿ホームロック用スパン糸



✿コンシールファスナー押え

コンシールファスナー付けに便利です。



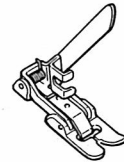
✿三つ巻き押え

ワイシャツのすそ、エプロンなどのフリルの端といった、布端の始末に用いてください。



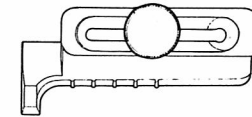
✿ストレッチ押え

ジャージー、トリコットなど、のびる布地の目とび防止に便利です。



✿前方定規と締めねじ

ピンタック、裁ち目かがり等布端をガイドして縫うのに便利です。



●アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。)それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、お買い上げ日から最低8年保有しています。
 - ・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- その他のアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

札幌支店	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	電話(011) 261-6631
仙台支店	〒980 仙台市一番町2-3-10	電話(0222) 27-8870
北関東支店	〒330 大宮市仲町1丁目124-2	電話(0486) 42-1271
東京支店	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	電話(03) 273-0231
横浜支店	〒220 横浜市西区楠町9-6	電話(045) 312-8631
新潟支店	〒950 新潟市東大通1-1-1	電話(0252) 47-7101
静岡支店	〒420 静岡市御幸町9-1	電話(0542) 54-2601
名古屋支店	〒460 名古屋市中区栄3-27-18	電話(052) 261-3271
京都支店	〒600 京都市下京区四条通り御幸町角	電話(075) 255-2481
大阪支店	〒542 大阪市南区心斎橋筋1-1	電話(06) 252-1797
広島支店	〒730 広島市中区胡町4-27	電話(082) 241-9236
高松支店	〒760 高松市寿町1-1-5	電話(0878) 51-7341
福岡支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	電話(092) 431-6561
熊本支店	〒860 熊本市城東町2-20	電話(0963) 55-7151
沖縄出張所	〒900 那覇市泊3-1-2	電話(0988) 68-4511

●ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社
ブラザーマシン販売株式会社

〒467 名古屋市瑞穂区堀田通9-35
TEL (052) 824-2511(代)

取扱店